

# 目次

第1章 はじめに.....	1
1. 子どもの読書活動の現状.....	1
2. 計画策定の経緯.....	3
3. 計画の位置づけ.....	4
第2章 第2次計画期間における取組.....	5
1. 第2次計画期間における基本目標.....	5
2. 第2次計画期間における取組の成果と課題.....	6
3. 指標からみた評価.....	9
第3章 計画の基本目標.....	12
1. 基本目標.....	12
2. 基本方針.....	12
3. 計画の期間.....	14
4. 計画体系図.....	15
第4章 子どもの読書活動推進のための方策.....	16
1. 家庭における子どもの読書活動の推進.....	16
2. 地域における子どもの読書活動の推進.....	19
(1) 図書館における子どもの読書活動の推進.....	19
(2) その他公共施設における子どもの読書活動の推進.....	25
3. 学校や幼稚園等における子どもの読書活動の推進.....	27
4. 多様な子どもたちに配慮した読書活動の推進.....	34
第5章 計画の総合的な推進に必要な方策.....	36
1. 広報・啓発活動と情報収集.....	36
2. 推進体制の整備.....	38
第6章 指標の設定.....	41
第7章 参考資料.....	42
1. 「子どもの読書活動に関する調査」結果（抜粋）.....	42
2. 「全国学力・学習状況調査」結果（抜粋）.....	48
3. 平成30年度「社会教育調査」結果（抜粋）.....	49
4. 滋賀県子ども読書活動団体等調査（草津市分抜粋）.....	50



# 第1章 はじめに

## 1. 子どもの読書活動の現状

近年、幼児期からの読書習慣の未形成などにより、子どもの「読書離れ」やコミュニケーション不足による問題解決能力の低下が指摘されています。

子どもの読書活動は、語彙など多くの知識、情報を与えてくれるだけでなく、読書を通じて先人たちの知識や知恵、世界中の人々の価値観に触れることができ、未知の世界や物事に対する想像力も豊かになります。また、読書を通じて「読み解く力」を養うことにより、言葉による表現力がつき、読み解き表現する経験を積むことにより社会を生きていく上で必要となる思考能力も培われます。さらに、親子での読み聞かせは、豊かな感性や情操、思いやりの心をはぐくむなど、「生きる力」を身につけていく上で、欠くことのできないものです。

情報通信技術（ICT）が発達・普及し、子どもの生活環境が大きく変化している中、平成30（2018）年度に実施された「子供の読書活動の推進等に関する調査研究」<sup>1</sup>では、小学生、中学生、高校生のいずれも、約2割の子どもが過去1か月間において「電子書籍を読んだ」と回答しており、子どもの読書活動への影響についても注視する必要があります。

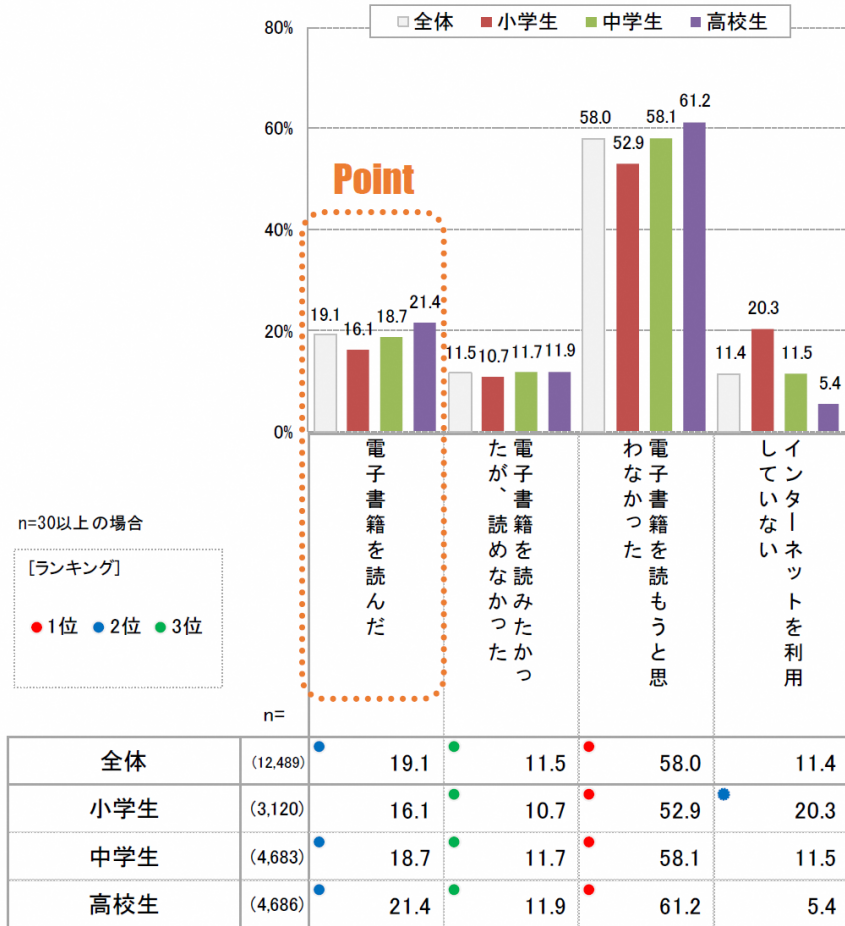
さらに、同調査では、小学校中・高学年のころに読み聞かせをしていた家庭の子どもは、本を読んでいる割合が高いことから、家庭での読み聞かせが、子どもの読書活動に大きな影響を与えていることが分かります。

このことから、これまでの成果のあった取組を継続しつつ、今まで以上に子どもたちが読書の楽しさを知り、読書が大好きになるよう、家庭、地域、学校、図書館等において連携を深めながら、読書に親しむ生活習慣を育むことが必要です。

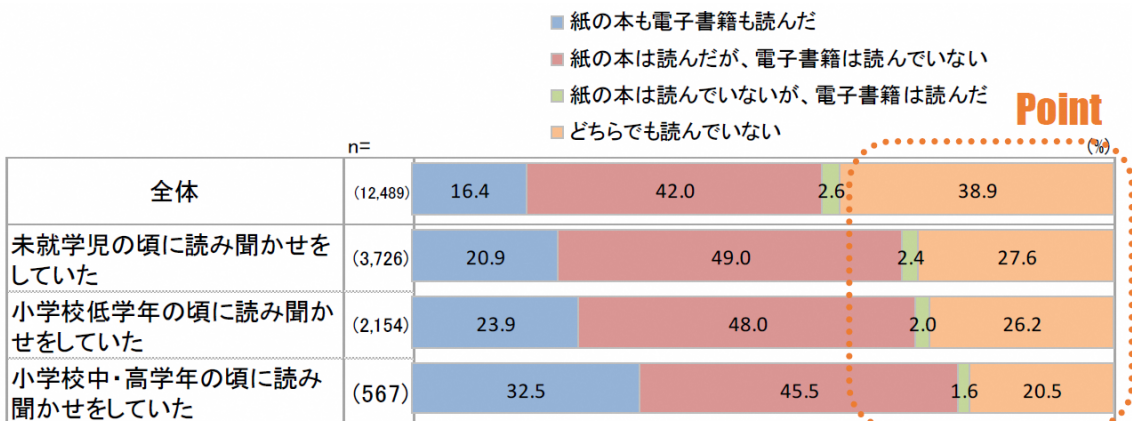
---

1 「子供の読書活動の推進等に関する調査研究」… 電子メディアが電子書籍を始めとするテキストを読むこともできることを踏まえ、読書活動に対する積極的な影響をもたらす可能性も念頭に置き、子どもの電子メディアの利用実態を把握し、読書活動等との関係を捉えることを目的として実施（平成30年度文部科学省委託調査）

■ 過去1か月間における電子書籍での読書



■ 読み聞かせの状況からみた子供の読書実態



平成30年度「子供の読書活動の推進等に関する調査研究」報告書概要版より抜粋

## 2. 計画策定の経緯

平成12（2000）年に行われた経済協力開発機構（OECD）「生徒の学習到達度調査」（PISA）<sup>2</sup>によれば、高校1年生の「趣味として読書をしない」と答えた割合は、OECDの平均では31.7%なのに対して、日本は55%であり、他のOECD諸国と比較すると、日本の生徒の読書への関心の低さが明らかになりました。

このような中、国では子どもの読書活動を支援するため、平成12（2000）年を「子ども読書年」とし、これを契機に、子どもの読書活動の取組を推進するため、平成13（2001）年12月に「子どもの読書活動の推進に関する法律」が公布、施行されました。さらに、同法に基づき、すべての子どもが自主的に読書活動を行うことができるよう、家庭、地域、学校、図書館において、読書環境の整備を進めることを基本理念とする「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」が平成14（2002）年に策定され、その後、平成20（2008）年に第2次基本計画、平成25（2013）年には第3次基本計画、平成30（2018）年にこの基本計画における課題、諸情勢の変化などを調査したうえで、第4次基本的計画が策定されました。

滋賀県では、平成17（2005）年に「滋賀県子ども読書活動推進計画」を策定され、平成31（2019）年に、これまでの取組の成果と課題、諸情勢の変化を踏まえ、第4次滋賀県子ども読書活動推進計画が策定されました。

草津市では、「子どもの読書活動の推進に関する基本計画」および「滋賀県子ども読書活動推進計画」を基本とし、市内の子どもの読書活動の現状を踏まえ、平成20（2008）年3月に「草津市子ども読書活動推進計画」、平成27（2015）年3月に第2次計画を策定しました。

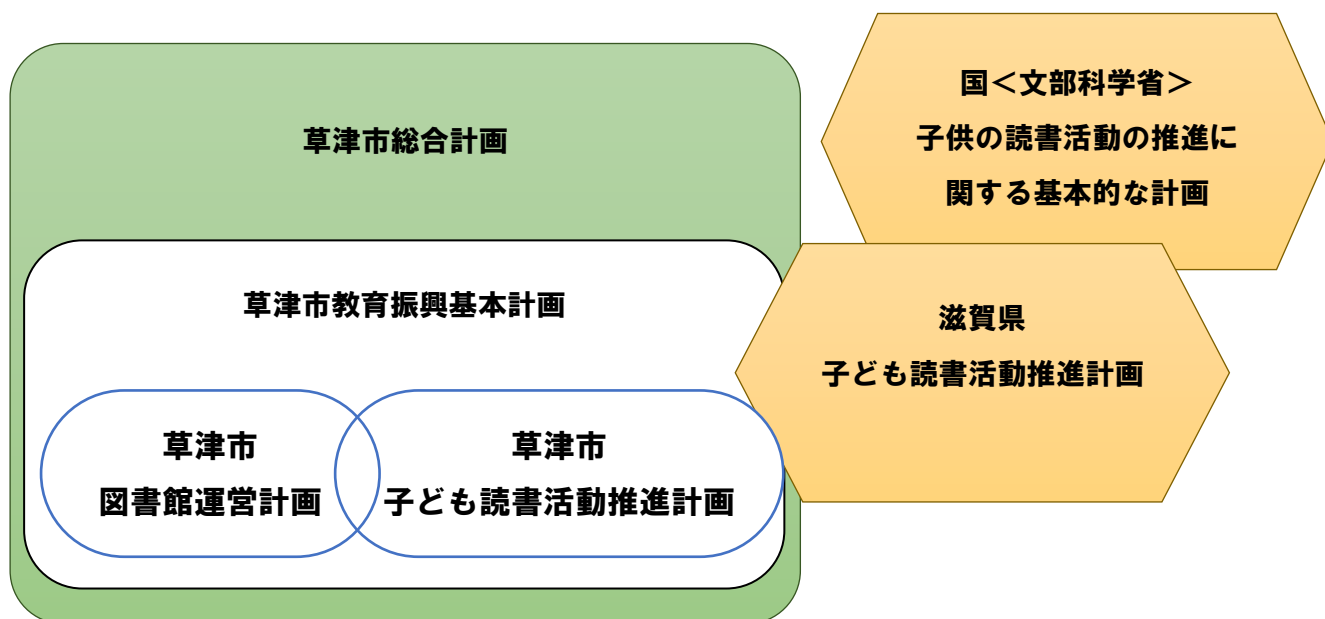
このたび、5年間にわたって取り組んできた成果や課題を検証し、本市の新たな読書活動の発展のため、「第3次草津市子ども読書活動推進計画」を策定します。

---

2 「生徒の学習到達度調査」（PISA）… OECD（経済協力開発機構）において実施する調査で、義務教育終了段階（15歳）において、これまでに身に付けてきた知識や技能を、実生活の様々な場面で直面する課題にどの程度活用できるかを測るもの

### 3. 計画の位置づけ

本計画は、子どもの読書活動の推進に関する法律に基づき、「草津市総合計画」および「草津市教育振興基本計画」を上位計画とし、子どもの読書活動の推進に関する法律に基づき、本市における子どもの読書活動の推進に関する取組や方向性を示す施策分野別計画として位置づけるものです。



## 第2章 第2次計画期間における取組

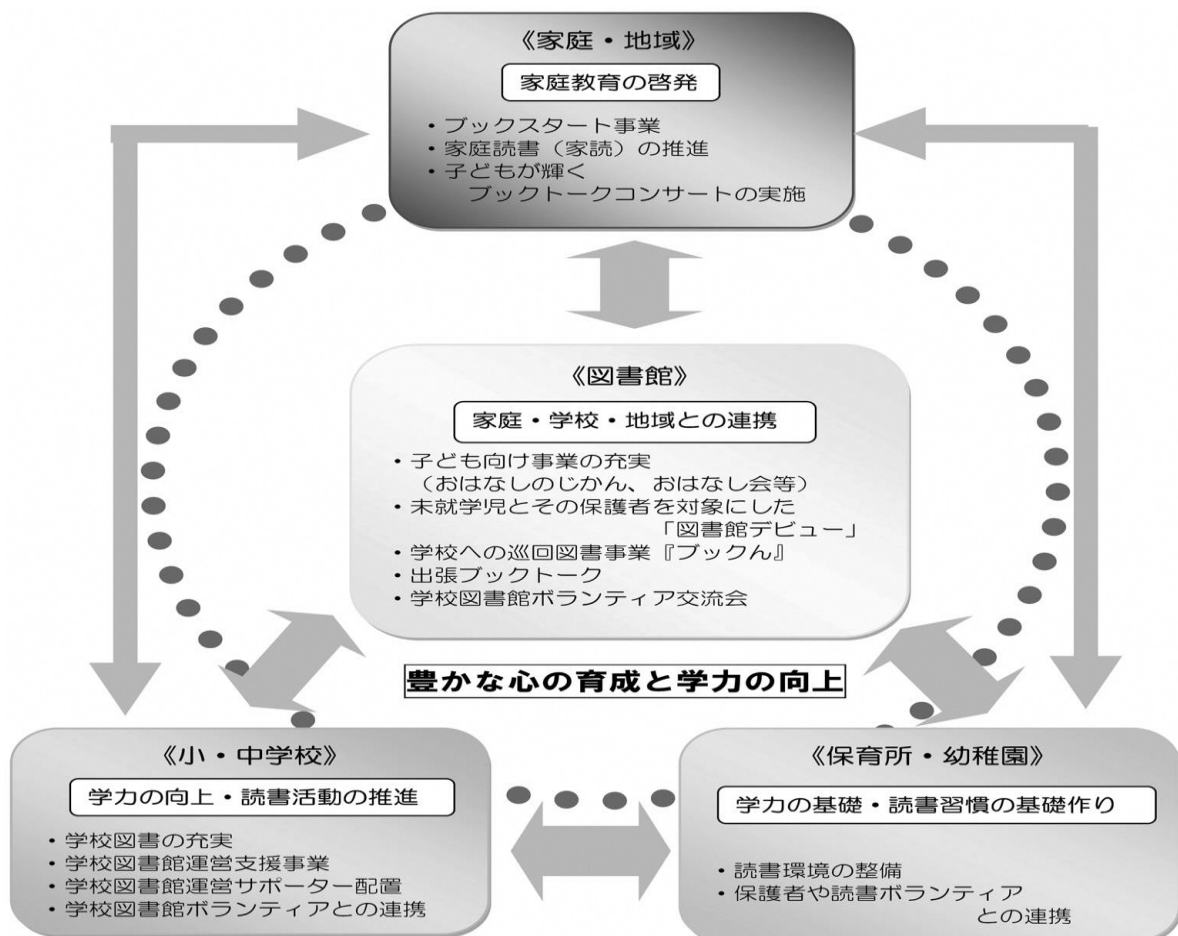
### 1. 第2次計画期間における基本目標

第2次計画期間においては、「楽しく読書できる環境を整え、読書が大好きな草津の子どもたちを育てよう」を基本目標に、次の3つを基本方針とし、取り組んできました。

#### 【基本方針】

- ①本との出会いと読書に親しむ環境づくり
- ②家庭、地域、学校、図書館等の連携による読書活動の推進
- ③子どもの読書情報の提供と理解や関心を高める普及・啓発と推進

#### 【第2次計画における『読書大好き草津の子ども』推進事業体系図】



## 2. 第2次計画期間における取組の成果と課題

### 【主な成果】

- ・小学生の「1か月に読んだ書籍の平均冊数」および小中学生の「1か月に本を1冊も読まなかった割合（不読率）」については、全国を上回る成果が見られる
- ・「全国学力・学習状況調査」の結果、「読書は好きですか」という問いに対して「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と答えた子どもの数が、小学生、中学生ともに増加

### 【主な課題】

- ・「全国学力・学習状況調査」の結果、依然として「読書は好きですか」という問いに対して「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と答えた中学生の割合が、全国平均に比べ低い

### 【第2次計画期間における取組の成果と課題】

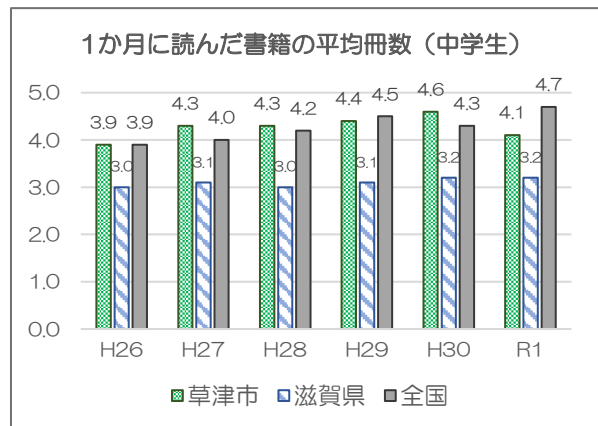
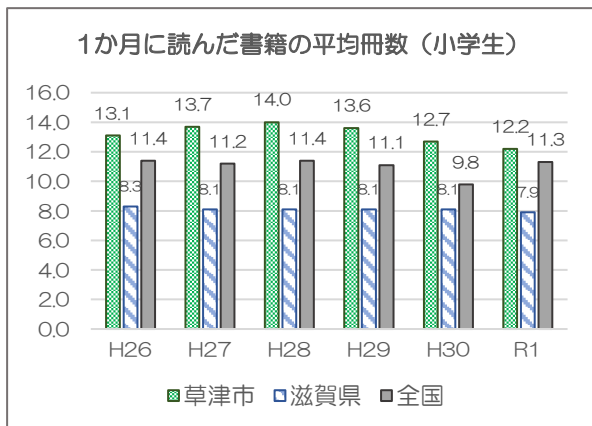
本市においては、子どもの読書に関わる活動を推進していくうえで、家庭、地域、学校、図書館等と連携し、子どもの読書環境を整備してきました。

その結果、草津市における子どもの読書活動の傾向については、「子どもの読書活動に関する調査」<sup>3</sup>の調査により、小学校4年生～6年生のうち、1か月に読んだ書籍の平均冊数については12.2冊で、全国を上回る成果が出ています。また、中学3年生のうち、1か月に読んだ書籍の平均冊数については4.1冊で、県内では高い水準を維持していますが、全国を下回りました。

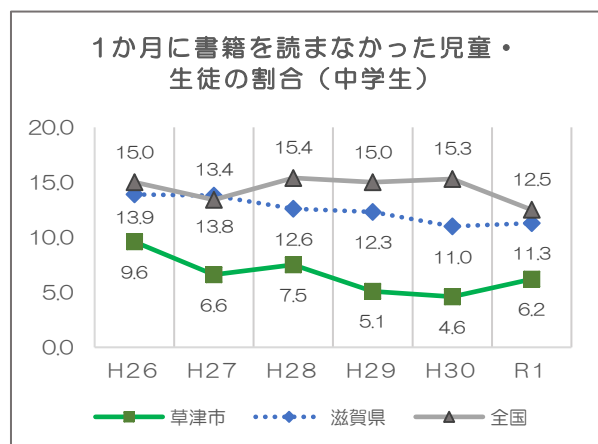
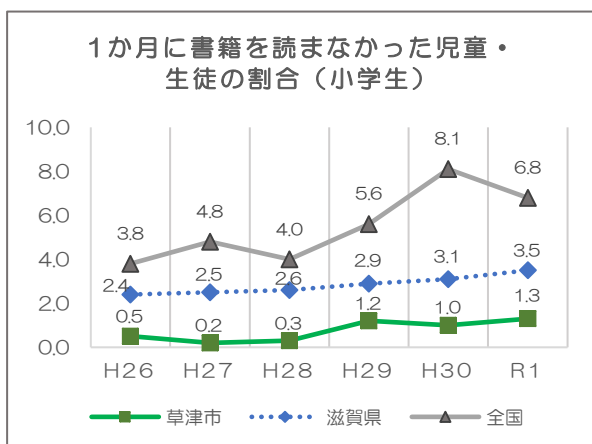
---

3 「子どもの読書活動に関する調査」… 滋賀県が、小学校4年生～高校3年生の5月の1か月間の読書量を、毎年6月第1週に調査するもの



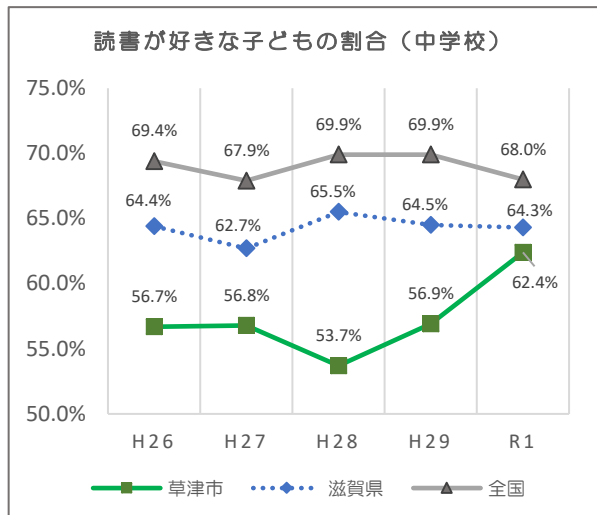
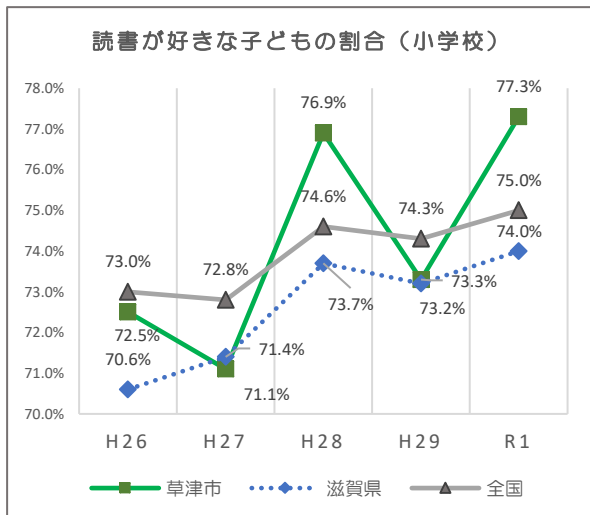


また、小学校4年生～中学校3年生のうち、1か月に本を1冊も読まなかった小学生の割合（不読率）は、1.3%、1か月に本を1冊も読まなかった中学生の割合は、6.2%となっており、いずれも全国よりも低い数値で推移しており、第2次計画における取組の成果が表れていると考えられます。

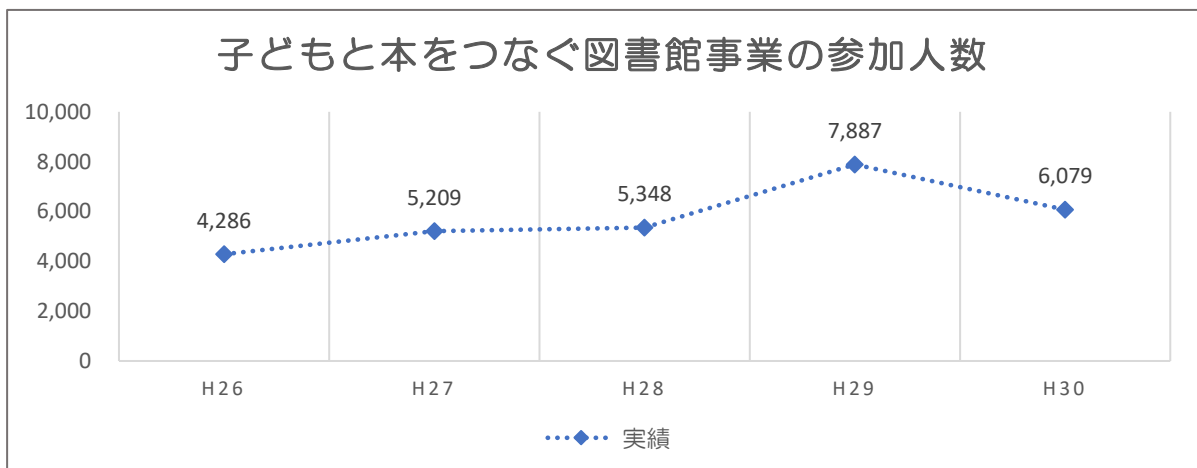


他方、計画の基本目標である「楽しく読書できる環境を整え、読書が大好きな草津の子どもたちを育てよう」という観点では、「全国学力・学習状況調査」<sup>4</sup>の子どもの読書に関する調査の結果、「読書は好きですか」という問いに対して「当てはまる」または「どちらかといえば、当てはまる」と答えた小学生の割合は、平成26（2014）年度と比較すると4.8ポイント増加し、77.3%、中学生の割合は5.7ポイント増加し、62.4%となりました。このことから、第2次計画における取組の成果が表れていると考えられます。

4 「全国学力・学習状況調査」… 平成19年度から文部科学省により、小学校6年生、中学校3年生を対象に、教科に関する調査（国語、算数・数学）、生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査を実施するもの



また、子どもと本をつなぐ図書館事業の参加人数も年々増加しております。



しかし、依然として「読書は好きですか」という問いに対して「当てはまる」または「どちらかといえば、当てはまる」と答えた中学生の割合は全国平均に比べ、5.6ポイント低い状況にあり、本市の子どもたちは、読書量は多いものの、読書が好きな子どもの割合は依然として低いことがわかります。

以上のことから、さらなる読書への興味や関心を引き続き持つことができるよう、取組の継続と発展が必要です。

また、国際化の進展に伴い、海外から帰国した子どもや外国籍の子ども、両親が国際結婚の子ども等、外国につながる子どもが全国的に増加しており、外国につながる子どもの読書環境を整え、読書活動を推進するように配慮することが求められています。

### 3. 指標からみた評価

第2次計画では、子どもの読書活動推進の推移を測る数値として8つの指標を設定し、計画の進行管理を行ってきました。

評価	
目標を達成した	a
目標を達成することは出来なかったが、直近の実績は前期計画策定時より改善した	b
目標を達成することが出来なかった	c

#### 【子どもの読書の「量」の充実を図る指標】

草津市内の児童生徒が1か月に読んだ書籍の平均冊数は、小学生、中学生のいずれも目標値を達成することが出来ませんでした。全国平均と比較すると、依然として高い数値を維持しています。また、1か月に書籍を読まなかった児童生徒の割合（不読率）は、小学生では目標を達成することが出来ませんでした。中学生では、目標を達成し、いずれも全国平均より低く抑えることが出来ています。

指標名		第2次計画 目標値	現状 <sup>5</sup>	評価
草津市内の児童生徒が 1か月に読んだ書籍の 平均冊数	小学校 (4~6年生)	13.5冊	12.2冊 (R1.6)	c
		全国平均と同様にゆるやかに減少し、目標値には届かなかったが、全国平均（11.3%）と比較して、依然として高い数値を継続している		
	中学校	4.2冊	4.1冊 (R1.6)	b
		目標値を達成することは出来なかったが、前期計画策定時（3.9冊）と比べ、0.2冊増加させることが出来た		
1か月に書籍を読まな かった児童生徒の割合 (不読率)	小学校 (4~6年生)	0.4%	1.3% (R1.6)	c
		前期計画策定時（0.5%）と比べ、0.8ポイント増加し、目標を達成することが出来なかったが、全国平均（6.8%）と比較して、低く抑えることが出来た		
	中学校	8.0%	6.2% (R1.6)	a
		前期計画策定時（9.6%）と比べ、3.4ポイント減少し、目標を達成することが出来た		

5 現状については、計画策定日現在の最新数値を採用しています。

年間貸出冊数および蔵書冊数では、市民1人が市立図書館で年に借りている図書冊数および児童図書の市立図書館での蔵書冊数は、目標を下回ったが、児童図書の市立図書館での年間貸出冊数は、目標を達成し、図書館を利用する児童が増加しました。

指標名	第2次計画 目標値	現状 <sup>5</sup>	評価
市民1人が市立図書館で年に借りている図書冊数	11.0冊	8.6冊 (H30年度)	c
	目標値を下回ったが、全国平均(5.4冊)と比較して、依然として高い数値を継続している		
児童図書の市立図書館での年間貸出冊数 (12歳以下の子ども1人あたり)	23.1冊	23.6冊 (H30年度)	a
	年間貸出冊数が、前期計画策定時(22.1冊)と比較して、1.5冊増加し、目標値を達成することが出来た		
児童図書の市立図書館での蔵書冊数 (12歳以下の子ども1人あたり)	7.6冊	7.1冊 (H30年度)	c
	目標値を下回ったが、当初計画策定時(6.5冊)と比較して、1.1冊増加している		

## 【子どもの読書の「質」の充実を図る指標】

読書が好きな子どもの割合は、小学生では目標を達成することが出来ました。中学生では、目標を達成することが出来ませんでした。平成26年度と比較すると、5.7%増加し、子どもの読書への取組の成果が表れてきていると考えられます。

子どもと本をつなぐ図書館事業の参加人数では、1,459人増加し、目標を達成することができました。

指標名		第2次計画 目標値	現状 <sup>5</sup>	評価
読書が好きな子どもの 割合 <sup>6</sup>	小学校 6年生	74.0%	77.3% (H31.4)	a
		読書が好きな子どもの割合が平成26年度(72.5%)と比較して、4.8ポイント増加し、目標を達成することが出来た		
	中学校 3年生	69.5%	62.4% (H31.4)	b
		読書が好きな子どもの割合が平成26年度(56.7%)と比較して、5.7ポイント増加したが、目標を達成することは出来なかった		
子どもと本をつなぐ図書館事業の 参加人数		5,000人	6,079人 (H30年度)	a
		事業の参加人数が平成26年度(4,620人)と比較して、1,459人増加し、目標値を達成することが出来た		

6 読書が好きな子どもの割合…「全国学力・学習状況調査」(全国学力学習状況調査・児童生徒質問紙【質問紙番号51「読書は好きですか」の「当てはまる」と「どちらかといえば、当てはまる」の合算】)

## 第3章 計画の基本目標

### 1. 基本目標

「楽しく読書できる環境を整え、読書が大好きな草津の子どもたちを育てよう」

### 2. 基本方針

読書に興味と関心を持ち、自主的に本を読む習慣を身に付けることにより、豊かな知性と人間性のある子どもの育成をめざし、家庭、地域、学校、図書館等において、連携を深め、子どもたちの読書活動を総合的に推進します。

#### ① 本との出会いと読書に親しむ環境づくり

子どもの発達段階に応じて、読書の楽しさを知るきっかけをつくり、読書活動の幅を広げるためには、本と身近にふれあうことができる機会を提供するとともに、施設や設備を整え、子どもと本をつなぐ役割を果たす人材を育成するなど、本に親しむ環境の整備に努めます。

#### ② 家庭・地域・学校・図書館等の連携による読書活動の推進

子どもの自主的な読書活動を推進するため、家庭、地域、学校、図書館等がそれぞれの役割を果たし、読書ボランティア等の民間団体とも緊密に連携し、相互に協力を図りながら、社会全体で子どもの主体的な読書活動の推進を図る取組を進めます。

#### ③ 子どもの読書に関する情報の提供と理解や関心を高める普及・啓発

子どもだけでなく、保護者をはじめ子どもに関わる大人に対しても、効果的な情報の提供を行い、子どもの読書活動に対する理解を深め、関心を高めるための、さまざまな普及・啓発活動に努めます。

基本目標

基本方針

主な具体的方策

楽しく読書できる環境を整え、読書が大好きな草津の子どもたちを育てよう

本との出会いと読書に親しみ環境を整えよう

家庭・地域・学校・図書館等の連携による読書活動の推進

子どもの読書に関する情報の提供と理解や関心を高める普及・啓発

乳幼児

- ・ブックスタート事業の実施
- ・幼稚園、保育所（園）、こども園や図書館等の蔵書の充実
- ・図書館による年齢・対象別事業の実施
- ・つどいの広場等での読書活動の実施
- ★乳幼児健診等の場を利用した家読の啓発

小中学生から  
18歳まで

- ・学校、図書館等の蔵書の充実
- ・学校図書館の適切な選書を行う等の環境整備の実施
- ・「ピリオバトル」等の取組を通じた読書習慣の確立
- ・学校図書館ボランティア交流会の実施
- ・学校図書館運営サポーターの配置
- ・学校司書の配置
- ・図書館による年齢・対象別事業の実施

乳幼児から  
中学生まで

- ・図書館による巡回図書事業「ブックん」の実施や「図書館見学」の受け入れ等による活動支援
- ・「読み聞かせ」の実施など図書館と図書館関係団体や読書ボランティア団体、学校、幼稚園、保育所（園）、こども園等との連携・協力
- ・学校における司書教諭、学校司書、保護者や地域ボランティア等との連携
- ★家庭での読書習慣の形成のための啓発（家読）

中学生から  
18歳まで

- ・図書館における「出張ブックトーク」の実施や「職場体験」の受け入れ等による活動支援
- ・地域ニーズに応じた読書ボランティア等の協力や連携による読書活動の支援
- ・司書教諭、学校司書、保護者や地域ボランティア等との連携
- ・学校での読書ボランティアによる読み聞かせの実施
- ★ヤングアダルト期に対応した読書習慣の形成支援
- ・学校外の読書環境の創出

全般

- ・乳幼児健診時等での絵本展示
- ・「家庭読書（家読）」の啓発
- ・「図書館だより」「こどものしゅうへん」等による情報提供の充実
- ・図書館による講座、講演会による普及・啓発活動
- ・「子ども読書の日」等における啓発広報活動
- ・市や学校等のホームページ、広報紙を活用した、効果的な啓発や情報提供の実施
- ・優れた取組に対する表彰
- ・「読書大好き草津の子ども」推進事業の推進
- ・草津市子ども読書活動推進協議会の実施
- ・子どもの読書活動を支援する読書ボランティア育成機能の整備
- ★多様な子どもたちに配慮した読書活動支援

### 3. 計画の期間

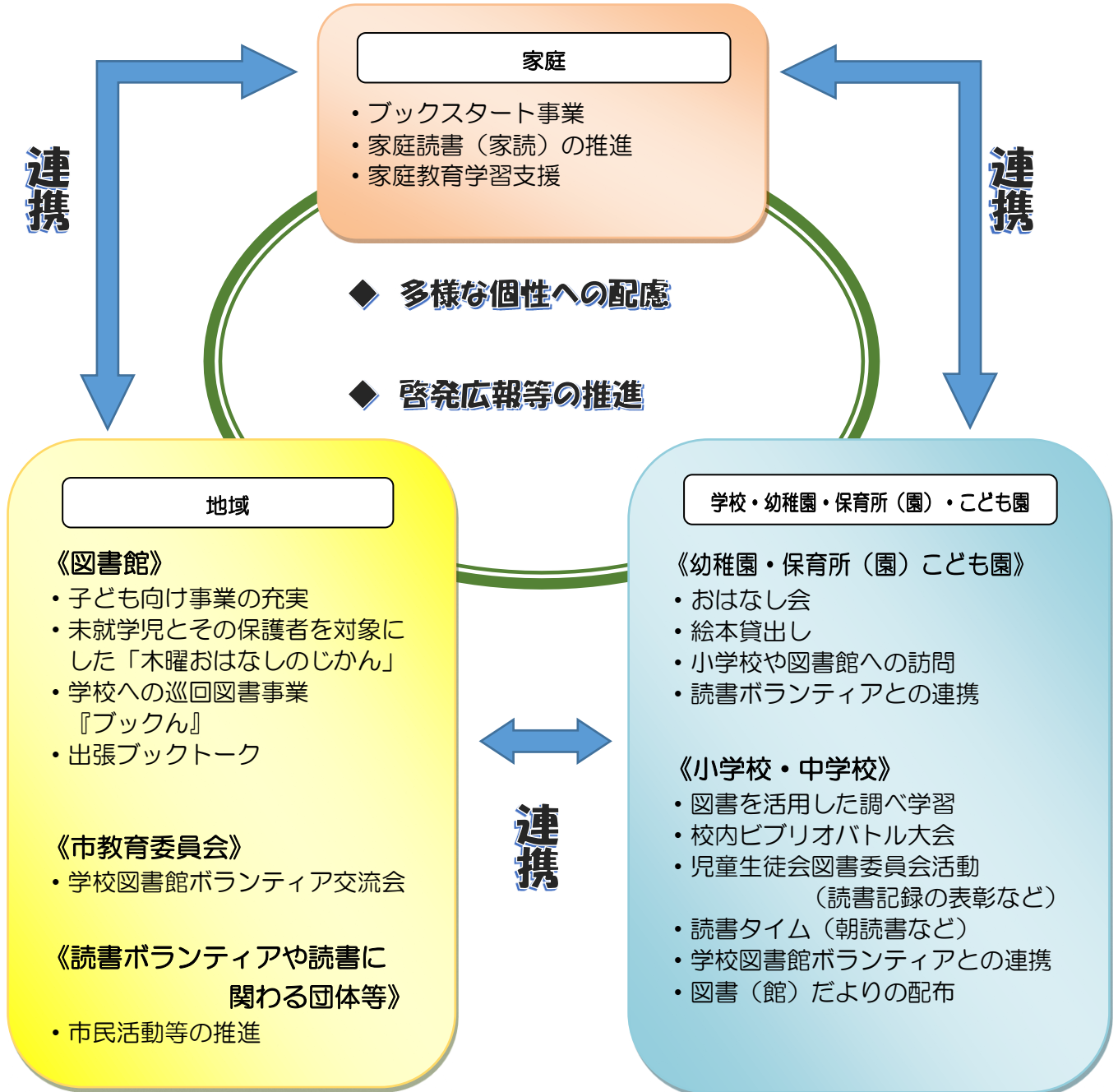
令和2年度からおおむね5年間とし、必要に応じて見直しを行います。

年度	平成 27 (2015)	平成 28 (2016)	平成 29 (2017)	平成 30 (2018)	令和 元 (2019)	令和 2 (2020)	令和 3 (2021)	令和 4 (2022)	令和 5 (2023)	令和 6 (2024)
草津市 総合計画	第5次草津市総合計画						第6次草津市総合計画			
	第2期		第3期				第1期			
草津市 教育振興 基本計画	第2期					第3期				
草津市 子ども読書 活動推進計画	第2次					第3次				
草津市 図書館 運営計画	草津市図書館運営計画									
	前期（調整期間）					後期（実施時期）				



#### 4. 計画体系図

下記体系図に基づき、家庭、地域、学校、図書館等において、連携を深め、子どもたちの読書活動を総合的に推進します。



## 第4章 子どもの読書活動推進のための方策

### 1. 家庭における子どもの読書活動の推進

#### 【現状と課題】

子どもが幼いころから読書習慣を身につけていく上で、家庭は最も身近で大切な場所であることから、子どもの発達に応じた読み聞かせなど、子どもが生活の中で本に親しむ機会を提供することが重要です。

しかし、本市においても核家族世帯や共働き世帯が増加する等の子どもを取り巻く環境の変化や、スマートフォンやゲーム、インターネット等の情報メディアの発展・多様化が影響し、家庭での読書離れが進む傾向が見られます。

そのため、本市では、絵本の読み聞かせの大切さの啓発や絵本に親しむ機会等の情報提供をすることにより、家庭での家族ぐるみの読書を推進しています。

今後も子どもの本への関心を高め、日常的に読書を楽しむことができるよう、家庭、地域、学校、図書館等が連携を図りながら、家庭における子どもの読書活動を支援していく必要があります。

#### 【施策の方向】

- 絵本の読み聞かせの大切さの啓発や絵本に親しむ機会等の情報提供を行うことにより、家庭での家族ぐるみの読書活動を推進します。
- 市の各課や各種関係団体等の支援組織が協働し、地域で市民の実施する子どもの読書活動を推進する取組について支援します。

【主な事業】

<乳幼児>

事業名	事業概要	担当 (連携・協力)
絵本 de うちどくサポート 広場 (家庭教育サポート事業)	1歳6か月の乳幼児健診の待ち時間を活用して、「家庭読書(家読)」 <sup>7</sup> 啓発チラシの配布や啓発DVDの上映、絵本の展示、図書館司書による読書相談や絵本の読み聞かせ(月1回)等を行い、親子で絵本に親しんでもらう機会を提供します。	生涯学習課 (子育て相談センター) (図書館)
乳幼児健診における絵本 展示	2歳6か月および3歳6か月の乳幼児健診の待ち時間を活用し、草津市立図書館から借用した絵本を展示して、絵本の楽しさを親子で体験してもらう機会を提供します。	子育て相談センター (図書館)
ブックスタート事業	概ね1歳未満の乳児のいる家庭を保育士が訪問し、育児相談・情報提供を行う「すこやか訪問」実施時に、絵本の読み聞かせと絵本のプレゼントを行います。 乳児の反応を見ながら、絵本を開く楽しさを体験してもらい、親子のふれあいのきっかけにつなげます。	子育て相談センター
つどいの広場事業	概ね3歳未満の子育て家庭が集い、交流するための広場の開設とスタッフによる子育て相談対応を実施します。 その一環として毎日2回、絵本や紙芝居の読み聞かせを実施し、様々な絵本との出会いの場にします。	子育て相談センター



絵本 de うちどくサポート広場



ブックスタート事業

7 家庭読書(家読) … 家族で読書の習慣を共有し、また、本を媒介として家族のコミュニケーションを深めること

<小中学生>

事業名	事業概要	担当 (連携・協力)
家庭教育サポート事業 (学校)	小学生の保護者を対象に図書館司書等の講話を行い、子どもが本好きになるきっかけを作ります。また、家庭での読み聞かせや読書を通じて、子どもとふれあう時間の大切さについて保護者への理解を深め、家庭教育の充実を図ります。	生涯学習課 (各小学校)
家庭教育学習事業費補助	単位PTAが実施する家庭教育に関する大会や研修会、体験学習、講習会等の学習事業に対して補助を実施します。	生涯学習課 (各小学校PTA)
小中学校教材設備充実費	義務教育教材備品等の整備充実により、小中学校の教育環境を向上させます。	教育総務課
図書購入費(図書のみ)	図書館資料の充実を図ることで、すべての子どもたちの利用に答えられるよう幅広い資料収集に努め、読書環境を整備します。	図書館



家庭教育学習講座 (家庭教育サポート事業)

## 2. 地域における子どもの読書活動の推進

### (1) 図書館における子どもの読書活動の推進

#### 【現状と課題】

本市は市立図書館、南草津図書館の2館を設置しています。また、移動図書館車（わかかさ号）の運行をはじめとする、地域に密着した「貸出サービス」、「児童サービス」、「全域サービス」を運営方針として行ってきました。

第2次草津市子ども読書活動推進計画に掲げた①資料の充実、②図書館PRと利用者の拡大、③子どもと本をつなぐ事業の充実、④年齢に応じた子ども向けサービスの充実・強化、⑤子どもの本に関する情報提供の充実、⑥学校、幼稚園、保育所との連携、⑦関係団体・ボランティア団体の活動支援、⑧図書館職員の能力向上について取り組んできました。また、「草津市の図書館運営計画（前期計画）2015-2020」に掲げる子ども読書に関わる施策においても事業内容の充実に努めました。

平成30（2018）年度の蔵書数は、約53万6千冊、うち児童書数は、12万5千冊で全体の23.3%にあたり、児童書の貸出冊数は年間41万冊を超え、いずれの数値も第2次草津市子ども読書活動推進計画に掲載した平成25（2013）年度実績数値を上回っています。第2次草津市子ども読書活動推進計画の5年間においては、特に、乳幼児とその保護者対象の「木曜おはなしのじかん」の両館毎月開催や、平成27（2015）年度から実施したYA（中高生）サービスの充実による、両館コーナー設置や中高生向きのおすすめ本や本の紹介を書いたPOPの展示など、赤ちゃんから高校生まで、年齢や対象別事業を充実させてきました。また平成25（2013）年度から開始した巡回図書事業「ブックん」や、小・中学校への「出張ブックトーク<sup>8</sup>」などの学校連携事業の強化に加えて、生涯学習課・子育て相談センターとの連携事業として実施している乳幼児健診（1歳6ヶ月）での読書相談や絵本の読み聞かせ、アーバンデザインセンターびわこ・くさつ（UDCBK）やミナクサ☆ひろばとの連携事業など他課・他機関との連携事業の充実も図ってきました。さらに、専門的知識を持った児童サービス担当司書を配置し、研修を行うことで、児童サービスに関する専門的知識や技能を磨き、育成するための継続した研修による司書の資質向上も必要不可欠です。

8 ブックトーク … 一つのテーマにそって幅広く、何冊かの本を順序立てて紹介する手法  
司書が学校へ訪問し、実施するブックトークを「出張ブックトーク」と言う。

このような取組の結果、貸出冊数に占める児童書の割合は、平成20（2008）年度の26.6%から徐々に上昇し、平成25（2013）年度には31.1%、平成30（2018）年度には36.0%となりました。この数値は全国平均30%（平成30年度文部科学省社会教育調査）<sup>9</sup>よりも高く、家庭、地域、学校、図書館等の連携を推進してきたことによる成果であると考えられます。

今計画では、現状のサービスを維持しながら、多様な子どもたちに配慮した読書活動の推進にも取り組み、未来を担う子どもの育成を推進し、子どもの成長に役立つ図書館の充実に努めます。

---

### 【施策の方向】

- 年齢に応じた子ども向けサービスの実施による、子どもと本をつなぐ事業の充実を図り、子どもの感性や人間性を育む読書活動の支援に努めます。
- 「木曜おはなしのじかん」など子育て世代への読書環境の啓発と支援、フェイスブック・ぽかぽかタウンでの行事情報発信等、子育てを応援し、子どもの交流機会に関する情報提供と支援を行います。
- 利用増加に伴う複本資料の充実と買い替えを行います。また、学校連携や活動支援用図書との補充と、子ども食堂等図書館への来館困難者にかかる読書環境整備のための資料の充実を図ります。
- 図書館の持つ専門性や経験を活かした学校、幼稚園、保育所（園）、こども園での読書活動を充実させるため、各校園所への支援や他課・他機関との連携強化による草津市の読書環境整備を行います。

---

9 平成30年度文部科学省社会教育調査 … 統計法に基づく基幹統計調査（基幹統計である社会教育統計を作成するための調査）として、社会教育行政に必要な社会教育に関する基本的な事項を明らかにすることを目的として実施

## 【主な事業】

### ① 子どもと本をつなぐ事業の充実

<乳幼児>

事業名	事業概要	担当 (連携・協力)
木曜おはなしのじかん	手遊びや歌遊び等親子のスキンシップを中心に、絵本の読み聞かせや選び方のアドバイス等も行う。	図書館
キッズデー	「小さな子どもを連れて来館するのは気兼ねしてしまう」との声を受けて設けた「子どもが主役」の日。 館内に BGM、子ども向けイベント等を実施。	図書館

<幼児および小学生>

事業名	事業概要	担当 (連携・協力)
おはなしのじかん	絵本の読み聞かせや紙芝居、手遊びなどを実施し、子どもの豊かな読書体験等を育みます。	図書館
おはなし会	図書ボランティアの協力のもと、「ストーリーテリング」 <sup>10</sup> や絵本の読み聞かせ・大型紙芝居・手遊びなどを行い、子どもの読書の動機づけと図書館利用を促します。	図書館 (図書ボランティア) (幼児課)
こどものつどい	図書ボランティアや外部人形劇団による人形劇等の実演。夏・冬・春休み前に(年3回)開催することで、図書館利用を促します。	図書館 (読書ボランティア)
絵本のひろば事業	図書館会議室を開放して、親子・家族で自由に絵本を選んで読んでもらう空間(段ボール書架全面に絵本の表紙見せ約200冊程度)をつくり、絵本の世界を体験してもらうことで、子どもと本をつなぐ事業として充実を図ります。	図書館
クイズラリー	本に関するクイズに答えることで図書館や本について学び、図書館・読書への動機づけと図書館利用を促します。	図書館
キッズデー (再掲)	「小さな子どもを連れて来館するのは気兼ねしてしまう」との声を受けて設けた「子どもが主役」の日。 館内に BGM、子ども向けイベント等を実施	図書館

10 「ストーリーテリング」…語り手が昔話などの物語を覚えて語り聞かせること。子どもと本を結びつける手だてのひとつ。別名「素話」



こどものついで



絵本のひろば（本館）



夏休み！図書館クイズラリー  
（南館）

<小中学生>

事業名	事業概要	担当 (連携・協力)
タベ(夜)のおはなし会	通常のおはなし会では物足りない小学高学年以上を対象に怖いおはなしや紙芝居・人形劇などを行います。	図書館
ブックン (巡回図書事業)	市内の全14小学校と連携し、4種類14セット約2,200冊の本を学期毎に巡回配本し、子どもたちがたくさん本と出会ってもらえる契機とします。	図書館 (小学校)
出張ブックトーク	小学高学年から中学生を対象に司書が学校へ訪問し、「ブックトーク」を実施。読書領域の拡大と読書要求の掘り起しを行います。	図書館 (各小中学校)



タベのおはなし会（本館）



夜のおはなし会（南館）



出張ブックトーク



職場体験



<中学生から18歳まで>

事業名	事業概要	担当 (連携・協力)
出張ブックトーク (再掲)	小学高学年から中学生を対象に司書が学校へ訪問し、「ブックトーク」を実施。読書領域の拡大と読書要求の掘り起しを行います。	図書館 (各小中学校)
高校連携	市内高校生との交流会の開催やおすすめ図書紹介 POP の交換を実施。高校生の図書館利用促進につなげます。	図書館 (各高校)



草津市立図書館高校連携交流会

## ② 子どもの本に関する情報提供の充実と図書館PRによる利用者の拡大

<全般>

事業名	事業概要	担当 (連携・協力)
子どもの本の教室	主に乳幼児とその保護者を対象とした講演会や親子で読書や絵本に関連するワークショップを実施します。	図書館 (読書ボランティア)
子ども読書講演会	子どもと家庭の読書活動推進と図書館利用を促すため、児童文学作家等の講演会を実施します。	図書館 (読書ボランティア)
こどものしゅうへん	おすすめ本の紹介や行事・新着図書情報を掲載した「こどものしゅうへん」を毎月発行し、ホームページにアップするなど、情報提供の充実を図ります。	図書館
レファレンス機能の充実	子どもの本に関するレファレンス（調査・相談）機能を充実させ、質問や相談に応えます。	図書館



子どもの本の教室（南館）



こどものしゅうへん

### ③ 施設、設備および蔵書の充実と環境整備の推進

<全般>

事業名	事業概要	担当 (連携・協力)
図書購入費(図書のみ)	図書館において、既存資料の整理を行うとともに、児童書のさらなる充実を図り、読書環境の整備に努めます。また、障害のある子どもたちや外国人児童の利用にも応えられるよう、幅広い資料収集に努めます。	図書館

### ④ 子どもの読書活動に関わる人材の充実

<全般>

事業名	事業概要	担当 (連携・協力)
講座および研修会等への図書館司書の講師派遣	他課、他機関との連携により、司書の専門性を活かした、絵本の読み聞かせ講座やブックトーク研修等の講師を務めます。	図書館 (幼稚園・保育所・こども園) (各小中学校) (庁内関係課)
学校図書館ボランティア交流会	学校図書館や読書活動の運営にボランティア等がかかわっている方々を対象として、各学期に1回、年3回の交流会を実施します。日頃の活動に役立つスキルアップ講座を計画したり、他の校舎所で活動する方々と意見交流の場を設定したりするなどして、子どもの読書活動の推進に携わる方々の資質の向上と連携を図ります。	学校政策推進課 (図書館) (学校図書館ボランティア)
関係団体・ボランティア団体の活動支援事業	図書館関係団体や子どもの読書に関わるボランティア団体と連携・協力し、おはなし会、点訳・音訳ボランティア、学校図書館ボランティア等の活動内容の充実や発展のために支援・協力を行います。	図書館 (図書館関係団体) (学校図書館ボランティア)



学校図書館ボランティア交流会

---

## (2) その他公共施設における子どもの読書活動の推進

---

### 【現状と課題】

子どもにとって、あらゆる機会を通じて本に接することは、読書の楽しさを知る上で大切です。本市では、図書館の他にも草津アミカホールやつどいの広場で、ブックトークコンサートや絵本・紙芝居の読み聞かせを実施する等、市内各施設がそれぞれの特色を生かしながら、読書に関連した催しを行っています。

また、いくつかの地域まちづくりセンターにおいては、地域の読書ボランティアや子育てサークルによる本の読み聞かせ等、子どもの読書活動への支援が行われています。

---

### 【施策の方向】

- 読書活動の推進に関する事業を行う事業者と連携・協力すると共に、公の施設の指定管理者等の自主的な取組を推進します。
- 地域ニーズに応じた連携・協力を行うと共に、ボランティア等との連携による本の読み聞かせや読書活動の支援に努めます。

【主な事業】

① 子どもと保護者への読書活動の場の提供

<全般>

事業名	事業概要	担当 (連携・協力)
つどいの広場事業	おおむね3歳未満の子育て家庭が集い、交流するための広場の開設とスタッフによる子育て相談対応を実施します。 その一環として毎日2回（11時・14時）、絵本や紙芝居の読み聞かせを実施し、様々な絵本との出会いの場とします。	子育て相談センター
子育て支援拠点施設運営事業	小学校3年生までの子育て家庭が集い、交流するための広場の開設とスタッフによる子育て相談対応を実施します。 その一環として毎日2回（11時・14時）、絵本や紙芝居の読み聞かせを実施し、様々な絵本との出会いの場とします。 また、ミナクサ☆ひろばでは、図書館とタイアップして、イベントとして司書による絵本や紙芝居の読み聞かせも実施します。	子育て相談センター (図書館)
まいにちビブリオバトル 【市民交流プラザ指定管理者の自主事業】	市民交流プラザでビブリオバトル（バトルとよばれる参加者が本の面白さを紹介し、最も読みたい本を投票で決めるゲーム）を実施し、本への興味・関心づくりや本を通じたコミュニケーションづくりを行います。	商工観光労政課 (※市民交流プラザ指定管理者の自主事業として実施)
講座および研修会の開催	絵本の読み聞かせ講座やブックトーク研修等の開催に際して、図書館司書の講師派遣を依頼し、司書の専門性や経験を活かした内容の充実を図ります。	幼稚園、保育所、こども園、各小中学校 庁内関係課 (図書館)



ミナクサ☆ひろば おはなし会



まいにちビブリオバトル

### 3. 学校や幼稚園等における子どもの読書活動の推進

#### 【現状と課題】

#### 乳幼児期

乳幼児期の子どもにとって、本に親しみ、楽しさを感じる経験は、その後の読書活動の基礎となります。

幼稚園、保育所（園）やこども園では、発達段階にあわせて子どもたちの興味関心を高めるため、絵本・紙芝居・童話等を使って、定期的に絵本の読み聞かせの時間を設けています。また、保護者や読書ボランティアと連携してお話会を実施したり、絵本の貸し出しを行ったりするなど、家族で絵本に親しむ機会を設けています。

あわせて、いくつかの園では図書館に出向き絵本に親しむ、移動図書館車を利用する等、図書館と連携・協力を図り絵本に親しむ環境づくりに努めています。しかし、絵本室を、PTA活動や会議室等と兼ねて利用しているところもあり、子どもたちが絵本等を見たいときに絵本室を活用できない現状が見られるため、読書環境の充実のためのより一層の工夫が必要です。

また、今後も教員や保育士等に対して、子どもの読書活動への理解の向上を図るとともに、保護者に対して読み聞かせや読書等の大切さや意義を広く啓発する必要があります。

#### 小中学生期

学校は、子どもが生涯にわたって読書に親しむ習慣を育む上で大きな役割を担っています。

国語科をはじめとする教科や総合的な学習の時間等の調べ学習、本の読み聞かせ、「ビブリオバトル」<sup>11</sup>、ブックトーク、読書感想文コンクール等、子どもたちは小・中学校で多様な読書体験を重ねています。

---

11 「ビブリオバトル」… 数人の競技者が、自分の好きな本を持ち寄り、その魅力を決められた時間で紹介し、聞き手が最も読みたい本を選ぶ、ゲーム形式の書評発表会。草津市では平成25（2013）年度より「みなくさまつり」において、立命館大学と連携して「くさつビブリオバトル」を実施している。

特に、小学生の段階で本に親しむ習慣を身につけることが、中学生以降の読書習慣や読書量に大きく影響すると言われていたことから、小学校からの継続した取組を大切にしています。

本市では、平成18（2006）年度から、計画的に小・中学校の学校図書館資料のデータベース化を進め、現在すべての小・中学校でパソコンによる蔵書管理や貸し出し業務を行っています。

これにより、学校図書館の環境や開館できる日時が安定し、充実した学校図書館運営が可能となりました。さらに、平成23（2011）年度から「読書大好き草津の子ども」推進事業の一環として、すべての小・中学校に司書（学校司書）を配置することで、各校の学校図書館来館者数が大幅に増加しました。また、教科や総合的な学習の時間等に、担任と司書教諭（学校司書）が連携して授業を進める学校が増加するなど、児童・生徒の読書の質・量の向上に、大きな成果をあげています。

また、読書活動の推進として図書館の団体貸出制度を活用し、テーマに合った図書を学級単位で借用し、読書習慣の定着に役だっている例も多くあります。読書環境としては、校内の廊下に図書コーナーを設けたり、学級文庫として数十冊を貸し出したりして、身近に図書を備えるなど、各校で工夫した様々な取組が実施されています。

さらに、市内の小中学校において、保護者や地域の人との連携が進み、学校図書館ボランティアの活動が読書活動の質的な充実を支えています。司書教諭<sup>12</sup>・学校司書<sup>13</sup>・学校図書館運営サポーター・ボランティアが連携し、子どもたちが訪れたい学校図書館をめざして、季節の変化や行事の内容を取り入れた読書コーナーを設ける他、学校図書館の壁面掲示、読み聞かせ等の活発な活動を行っています。

しかし、子どもの「読書離れ」やコミュニケーション不足による問題解決能力の低下が指摘されている中、子どもが本に親しめる環境整備をより一層進める必要があります。また、保護者世代への働きかけも必要です。

- 
- 12 「司書教諭」 … 学校内の役割としてその職務を担当し、学校図書館資料の選択・収集・提供や子どもの読書活動に対する指導等を行う等、学校図書館の運営・活用について中心的な役割を担う教諭
- 13 「学校司書」 … 学校図書館の運営の改善及び向上を図り、児童又は生徒及び教員による学校図書館の利用の一層の促進に資するため、専ら学校図書館の職務に従事する職員（学校図書館法第6条）

さらに、各校の司書教諭が、学級担任等を兼務しており、学校司書と学校図書館運営や学習活動支援等について話し合う時間が十分に持てないなど、その連携に課題があります。今後さらに学校図書館が「読書センター」<sup>14</sup>や「学習・情報センター」<sup>15</sup>の機能を発揮させ、子どもが本に親しめるための環境整備を進める必要があります。

---

## 【施策の方向】

- 保護者が読み聞かせ等を通じて、子どもの豊かな感性や情操、思いやりの心を育むことができるよう、読み聞かせの機会の創出や啓発等を実施し、家庭での読書習慣が身に付くよう働きかけます。
- 子どもが、さまざまな人からの読み聞かせを通して、絵本や紙芝居等お話に親しむ機会を設けます。
- 図書館に出向き、おはなし会に参加したり絵本に親しんだり、子どもたちが本に親しめるよう、興味・関心や発達段階に応じた本の整備等の環境づくりに努めます。
- 学校図書館を活用する授業を工夫し、児童生徒に図書館および資料の利用方法を習得させることにより、主体的に学習を進める力を育成します。
- 地域や保護者・読書ボランティアとの連携を一層進め、書架等必要備品の整備、学校図書館資料の適切な選書、レイアウトの工夫等を行い、学校図書館の環境整備に努めます。
- 司書教諭をはじめとする学校図書館担当教員等を対象とした学校図書館に関わる研修会を実施し、専門性の向上と、学校司書や図書館との連携を図ります。

---

14 「読書センター」 … 日々の生活の中で児童生徒が自由に読書を楽しむ場であり、また、豊かな感性や情操を育む読書指導の場

15 「学習・情報センター」 … 児童生徒の自発的、主体的な学習活動を支援するとともに、必要な情報の収集・選択・活用できる場

## 【主な事業】

### ① 読書を通じたコミュニケーション機会の創出と読書習慣の形成

<乳幼児>

事業名	事業概要	担当 (連携・協力)
読書活動の大切さの啓発	地域にある図書館やボランティア等の資源を活用し、質の高い読書環境を構築しながら、誕生日会や参観等保護者が集まる機会を通して、読み聞かせを行うなど、保護者への啓発を充実していきます。	幼児課
親子絵本貸し出し	図書室絵本の貸し出しに際して読書カードを作り、読み聞かせ時の感想や子どもの様子を保護者に記入してもらおう等、読書に関わって子どもの育ちを共有できるよう努めます。	幼児課
絵本等の読み聞かせやお話会の開催	保護者によるおはなし会、地域のボランティアによるおはなし会、園長によるストーリーテリング等、さまざまな人からの読み聞かせを通して、乳幼児がお話の世界を楽しみ、親しむことができる環境整備に努めます。	幼児課
PTA や保護者有志等との連携事業の実施	PTA 推薦図書の回覧や保護者有志等による読み聞かせ会を実施するなど、PTAや保護者との連携を推進します。	幼児課 (読書ボランティア)
絵本だよりの発行	絵本だよりの等を通して保護者に読書活動の様子等、子どもたちの読書に関する情報を提供することによって、大人も含めた家庭における読書習慣の形成を促進します。	幼児課
図書館の絵本の貸し出し体験	図書館と連携し、園児がお話や紙芝居の世界を楽しんだり、絵本の貸し出し体験などを通して、図書館を利用するときのマナーを学んだりする機会を推進します。	幼児課 (図書館)
移動図書館の利用	図書館と連携し、移動図書館に来ていただくことにより、普段より多くの絵本等に親しむことができる環境整備に努めます。	幼児課 (図書館)
園児の小学校の図書室探検	小学校等と連携をして、小学生による絵本の読み聞かせの実施や、小学校の図書館を探検することにより本への興味・関心を高める事業を実施します。	幼稚園 (小学校)



おはなしお母さん



<小学生以上>

事業名	事業概要	担当 (連携・協力)
学校図書館を活用する授業や学校だより等に関する取組など	学校だより等を通して保護者に学校での読書活動の様子等、子どもたちの読書に関する情報を提供することによって、大人も含めた家庭における読書習慣の形成を促進します。	小中学校
「ビブリオバトル」や子ども同士で本を紹介し合う取組について	子どもの読書への意欲を高めるため、書評合戦「ビブリオバトル」を取り入れ、立命館大学と連携して、市内でビブリオバトル大会を開催します。また、学校の授業において、子ども同士で本を紹介し合う取組なども実施します。	小中学校 (学校政策推進課)
”学習・情報センター”としての学校図書館の活用	「図書館を使った調べる学習コンクール」の地域コンクールを導入し、身近なことに課題を見つけて情報を収集し、資料を読み解く力や複数の情報を目的に応じて活用する力を育成するとともに、それらをレポートにまとめ、伝えるための表現を工夫する力を育成します。	学校政策推進課
「子ども読書の日」 「校内読書週間」の取組	学級ごとに読んだ冊数を調査し、読んだ冊数ごとに木に葉を付ける「読書の木」の取組や、図書委員会の企画する「読書祭り」、図書室のオリエンテーションや「読書貯金通帳」等の取組を引き続き推進します。 また、啓発ポスターの掲示や校内放送を利用した図書委員のおすすめの本の紹介等を行い生徒の主体的な取組を推進します。	小中学校
園児の小学校の図書室探検	幼稚園等と連携して、小学生による絵本の読み聞かせの実施や、小学校の図書室を探検することにより本への興味関心を高める事業を実施します。	幼児課 (小学校)



くさつビブリオバトル



図書館を使った調べる学習

## ② 施設、設備および蔵書の充実と環境整備の推進

<乳幼児>

事業名	事業概要	担当 (連携・協力)
幼稚園・幼稚園型認定こども園、保育所・幼保連携型認定こども園 図書館整備	幼稚園・幼稚園型認定こども園、保育所(園)・幼保連携型認定こども園における図書の充実を図ります。また、おすすめの絵本の紹介文を提示し、園児やその保護者が絵本を読んでもたくなるような工夫をすることにより、人生の初期である乳幼児期に絵本に触れる機会を増やし、絵本やお話の楽しさを感じることができる読書環境を整えることで、子どもたちの育ちを支え、豊かな感性を培います。	幼児課

<小中学生>

事業名	事業概要	担当 (連携・協力)
小中学校教材設備の充実	義務教育教材備品等の整備充実により、小中学校の教育環境を向上させます。	教育総務課
「読書センター」「学習・情報センター」としての学校図書館の活用	学校図書館が「読書センター」「学習・情報センター」としての機能を十分に発揮できるよう、学校司書によるレファレンスや、図書室のレイアウトの工夫、書架等必要備品の整備や、学校図書館資料の適切な選書を行う等、保護者・地域ボランティアと連携しながら、さらに使いやすい環境整備に努めます。	学校政策推進課
学校図書館の充実	学校司書、学校図書館運営サポーターを各校に配置し、司書教諭をはじめとした教員、学校図書館ボランティア等学校図書館に関わる関係者が連携をすることで、学校図書館が毎日開館されるよう努めます。	学校政策推進課



学校図書館の様子

### ③ 子どもの読書活動に関わる人材の育成

<小中学生>

事業名	事業概要	担当 (連携・協力)
学校図書館運営部会の実施	学校図書館運営部会を各校で定期的を実施し、学校図書館関係者の連携を密に行います。	学校政策推進課
学校図書館ボランティア交流会 (再掲)	学校図書館や読書活動の運営にボランティア等がかかわっている方々を対象として、各学期に1回、年3回の交流会を実施します。 日頃の活動に役立つスキルアップ講座を図書館と協力して計画したり、他の校舎所で活動する方々と意見交流の場を設定したりするなどして、子どもの読書活動の推進に携わる方々の資質の向上と連携を図ります。	学校政策推進課 (図書館) (学校図書館ボランティア)



学校図書館ボランティアによる絵本の読み聞かせ

## 4. 多様な子どもたちに配慮した読書活動の推進

### 【現状と課題】

読書習慣を身に付け、たくさんの本に親しむことは、多様な子どもたちが互いに理解し合い、思いやりの心を育むことに役立ちます。また、障害のある子どもや、外国につながる子どもとコミュニケーションを図ったり、成長を促したりするために有効な手段の一つです。

また、近年、ひとり親家庭の増加等により、子どもと過ごす時間が限られ、家庭での読み聞かせの時間や、図書館等で実施する読書活動推進事業に参加する時間が確保できない家庭も増加しています。

このことから、子どもの個性や子どもを取り巻く環境など一人ひとりに合わせた、きめ細かな対応が大切です。

学校では、児童生徒の状態や発達段階、関心に合わせて創意工夫を行っています。

たとえば、点字本や大型絵本、布絵本やパネルシアター等の活用や、国語科等の学習の一部を活用するなど、本に親しむ時間を意図的に取り入れています。

また、子どもたちにとって本が身近なものとなるよう、幅広い種類の図書を充実させる他、絵本室以外の教室、廊下等に読書コーナーを設ける等、読書環境向上のための工夫をしています。

一方で、個々の希望に応じた本の選書や、本に関心を向けさせることが難しい現実があります。今後、図書館や司書教諭、学校司書や各関係課との連携をより強化し、読書環境の充実を進める必要があります。

### 【施策の方向】

- 子どもの能力や可能性を伸ばすための教育や学習支援を、子どもの置かれた状況に応じて、その意見を尊重しながら推進します。
- 多様な個性に応じた読書環境を提供できるよう資料の収集に努めます。
- 子ども食堂への団体セット貸出サービスや子どもの居場所づくり事業との連携等を行い、図書館を利用しづらい子どもたちに向けた読書支援活動を実施します。

## 【主な事業】

### ① 特別な配慮が必要となる児童にかかる読書活動推進

<全般>

事業名	事業概要	担当 (連携・協力)
図書館における障害者サービス	障害のある子どもたちへのサービスとして、点字本や録音図書（DAISY）、拡大写本等の作成に係るボランティア団体の活動支援や、資料収集・提供による子どもの読書活動の推進につなげます。	図書館
「多文化共生の視点」に立った、お話や絵本、図書の充実	日本語だけでなく、国際理解の視点も含め、図書資料を収集し、それぞれの子どものに合わせた読み聞かせを行うなど、全ての子どもが本に親しみやすい読書環境の提供に努めます。特に、日本語の読み書きが不自由な外国につながる児童に対する日本語指導に活用できる図書資料の充実に努めます。	幼児課 (保育所・幼稚園・こども園) 小学校 中学校 図書館

### ② 図書館等への来館困難者にかかる読書活動推進

<全般>

事業名	事業概要	担当 (連携・協力)
発達支援センター湖の子園における読書活動	発達支援センター湖の子園で絵本や大型絵本・紙芝居等の読み聞かせを行い、親子共に絵本の楽しさを体験し、絵本・おはなしへの興味関心につなげます。	発達支援センター
子ども食堂への団体セット貸出サービス	市内の子ども食堂に、各食堂の特徴に合わせて、司書が選書した団体セットの貸出を行うことで、子どもたちの読書環境の充実と読書活動支援を行います。	図書館
子どもの居場所づくり事業との連携	子ども家庭課と連携し、参加している中学生に絵本の読み聞かせや本の紹介を行います。	図書館 (子ども家庭課) (生活支援課)



子ども食堂への団体セット貸出サービス

## 第5章 計画の総合的な推進に必要な方策

### 1. 広報・啓発活動と情報収集

#### 【現状と課題】

子どもの読書活動の推進のため、読書活動の意義や重要性を、子どもだけでなく保護者や、周囲の大人等への理解と関心が深められるような取組・啓発が必要です。

そこで、「子どもの読書活動の推進に関する法律」では、広く子どもの読書活動について関心と理解を深め、子どもが積極的に読書活動への意欲を高めることを目的とし、毎年4月23日を「子ども読書の日」と定めています。

本市では、学校や図書館等において推薦図書や児童図書関連事業の情報提供を行っています。今後は、さらに市の広報紙やホームページ等の媒体を使って、さまざまな施設や団体等が実施している取組の情報を収集し提供する等、広報・啓発を推進していく必要があります。

また、国、県、関係機関、関係団体との連携を図り、子どもたちが読書の楽しみを見つけ、関心が持てるような環境づくりを推進するとともに、家庭をはじめ、地域社会全体で読書活動への取組の気運が高まるよう、効果的な広報・啓発活動を展開する必要があります。

#### 【施策の方向】

- ・「子ども読書の日」関連事業を推進します。
- ・子どもの読書活動に関するさまざまな情報の収集と提供を行います。
- ・国等の表彰制度を活用し、子どもの読書活動の優秀実践校、団体、個人等を積極的に推薦し、取組を奨励します。

## 【主な事業】

### ① 「子ども読書の日」関連事業の推進

<全般>

事業名	事業概要	担当 (連携・協力)
「子ども読書の日」等における啓発	市ホームページ、ポスターや「図書館だより」等により、「子ども読書の日」等の周知に努めます。	生涯学習課 図書館
「子ども読書の日」等における関連事業の実施	「子ども読書の日」に合わせて、図書室のオリエンテーションの実施や図書館での子ども向け事業の開催など、子どもが読書に親しむ機会を提供します。	小中学校 図書館

### ② 各種情報の収集、提供

<全般>

事業名	事業概要	担当 (連携・協力)
各種情報の収集、提供	市や図書館、学校等のホームページを活用し、子どもの読書活動に関するさまざまな情報の収集と提供を行います。	生涯学習課 (図書館) (小中学校)

### ③ 優れた取組に対する表彰

<全般>

事業名	事業概要	担当 (連携・協力)
国等の表彰制度への推薦	国等の表彰制度を活用し、子どもの読書活動の優秀実践校、団体、個人等を積極的に推薦し、取組を奨励するとともに関係者の意欲を高め、啓発に取り組み、広く市民や関係機関に周知することで、子どもの読書活動の推進に努めます。	生涯学習課

## 2. 推進体制の整備

### 【現状と課題】

子どもたちの読書活動の推進にあたっては、学校や図書館等の市関係部署や読書ボランティア、県・他市町等との連携・協力をさらに深めることが必要です。

本市では、家庭、学校、図書館等において、子どもたちの読書活動を総合的に推進するため、「読書大好き草津の子ども」推進事業に取り組んでいます。また、市関係部署が密接に連携するため「草津市子ども読書活動推進協議会」を設置し、施策の進捗状況の把握と確認・評価を行っています。

課題としては、地域によってボランティア団体等の活動に差異があること、また、図書館と学校等との距離が離れていることで連携を図りにくいことがあげられます。各地域の連携の取り易さの違いに応じた対応を展開する必要があります。

### 【施策の方向】

- 子どもの読書活動を推進するため読書ボランティアの育成に努めるとともに、ボランティアが機能的に活動できるよう環境の整備を進めます。
- 読書活動を他の学習や行事と関連性を持たせることで、より発展した活動を展開し、子どもたちの意欲や目的意識を向上させます。さらには、読書の楽しさを知り、読書習慣を育むために、教育活動の中で一人ひとりに合った豊かな読書活動が体験できるように働きかけます。



## 【主な事業】

### ① 子どもの読書活動を支援する読書ボランティア育成機能の整備

<乳幼児>

事業名	事業概要	担当 (連携・協力)
読み聞かせの啓発	読み聞かせの重要性を啓発するために、地域ボランティア等を活用して、多様な人とのかわりの中で子どもたちがお話の世界に親しみ、楽しめるように取り組みます。	幼児課 (保育所・幼稚園・こども園)

<小学生>

事業名	事業概要	担当 (連携・協力)
読み聞かせ	読書活動の推進に向けて、読書ボランティアの協力を得て、休み時間や学校図書館の開館時間などに読み聞かせの時間を確保します。	小学校

### ② 学習や行事との関連性

<乳幼児>

事業名	事業概要	担当 (連携・協力)
保育活動と読書活動の連携	日々の保育活動がより豊かになるよう、それらに関連した絵本や図鑑等を効果的に利用する等、計画的な読書活動と保育活動の連携を行います。	幼児課 (保育所・幼稚園・こども園)

<小中学生>

事業名	事業概要	担当 (連携・協力)
読書タイム	読書活動の推進に向けて、朝や休み時間に読書や読み聞かせの時間を確保します。	小中学校
「ビブリオバトル」や子ども同士で本を紹介し合う取組について(再掲)	子どもの読書への意欲を高めるため、書評合戦「ビブリオバトル」を取り入れ、立命館大学と連携して、市内でビブリオバトル大会を開催します。また、学校の授業において、子ども同士で本を紹介し合う取組なども実施します。	小中学校 (学校政策推進課)

### ③ ネットワークの整備

<乳幼児>

事業名	事業概要	担当 (連携・協力)
保護者や地域のボランティア等の地域資源を活用した読書活動	保護者や地域のボランティア等の地域資源を活用して、一人ひとりの子どもの楽しく充実した読書活動を推進します。	幼児課 (保育所・幼稚園・こども園)

<小中学生>

事業名	事業概要	担当 (連携・協力)
学校図書館ボランティア・学校図書館運営サポーター・学校司書との連携	学校図書館ボランティア・学校図書館運営サポーター・学校司書との連携、協力を深め、子どもの豊かな読書活動を推進します。	小学校・中学校
読書ボランティアの活動の情報発信	情報誌を発行するなど、読書ボランティアの活動を積極的に発信し、家庭との連携を進めます。	小学校

<全般>

事業名	事業概要	担当 (連携・協力)
草津市子ども読書活動推進協議会等の開催	市関係部署による連絡調整会議である「草津市子ども読書活動推進協議会」を設置し、密接な連携を図ることで、施策の進捗状況の把握と確認・評価を行い、必要に応じて見直しを進めます。	生涯学習課



朝読書



読書ボランティア作成の学校図書館の掲示物

## 第6章 指標の設定

この計画では、子ども読書活動推進計画の推進状況を評価、確認できる指標を使って、以下のとおり、数値目標を設定します。この指標の達成状況の把握等によって、この計画の進行管理を行っていきます。

### 【子どもの読書の「量」の充実を図る指標】

	指標名		現状	目標値
1	草津市内の児童生徒が1か月に読んだ書籍の平均冊数	小学校 (4~6年生)	12.2冊 (R1.6)	12.8冊
		中学校	4.1冊 (R1.6)	4.4冊
2	1か月に書籍を読まなかった児童生徒の割合 (不読率)	小学校 (4~6年生)	1.3% (R1.6)	0.4%
		中学校	6.2% (R1.6)	5.7%
3	児童図書の市立図書館での年間貸出冊数 (12歳以下の子ども1人あたり)		23.6冊 (H30年度)	25.0冊
4	児童図書の市立図書館での蔵書冊数 (12歳以下の子ども1人あたり)		7.1冊 (H30年度)	7.6冊

### 【子どもの読書の「質」の充実を図る指標】

	指標名		現状	目標値
1	読書が好きな子どもの割合 <sup>16</sup>	小学校 6年生	77.3% (H31.4)	78.3%
		中学校 3年生	62.4% (H31.4)	68.0%
2	子どもと本をつなぐ図書館事業の参加人数		6,079人 (H30年度)	6,500人
3	子どもの読書活動に関わる大人の数 (子ども読書活動団体等調査における団体の活動人数)		610人 (R2.1)	640人

16 読書が好きな子どもの割合…全国学力学習状況調査・児童生徒質問紙「読書は好きですか」の「当てはまる」と「どちらかという、当てはまる」の合算

## 第7章 参考資料

### 1. 「子どもの読書活動に関する調査」結果（抜粋）

#### ◆H22～R1 調査結果の過去10年間の推移（滋賀県の経年変化グラフ）

不読率(1か月に1冊も本を読まない児童生徒の割合)(%)												
											県目標数値	全国
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	(R5)	R1
小学生(滋賀県)	3.5	3.6	3.5	3.1	2.4	2.5	2.6	2.9	3.1	3.5	—	6.8
中学生(滋賀県)	18.9	16.7	17.2	15.9	13.9	13.8	12.6	12.3	11.0	11.3	—	12.5
高校生(滋賀県)	44.9	44.1	41.8	43.2	44.5	42.6	41.0	40.2	41.8	42.3	30.0	55.3
特別支援学校生(滋賀県)	44.2	61.9	52.3	55.5	44.4	49.3	45.9	48.3	47.4	43.5	—	—

不読率(1か月に1冊も本を読まない児童生徒の割合)(%)												
											県目標数値	滋賀
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	(R5)	R1
小学生(全国)	6.2	6.2	4.5	5.3	3.8	4.8	4.0	5.6	8.1	6.8	—	3.5
中学生(全国)	12.7	16.2	16.4	16.9	15.0	13.4	15.4	15.0	15.3	12.5	—	11.3
高校生(全国)	44.3	50.8	53.2	45.0	48.7	51.9	57.1	50.4	55.8	55.3	30.0	42.3
特別支援学校生(全国)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	43.5

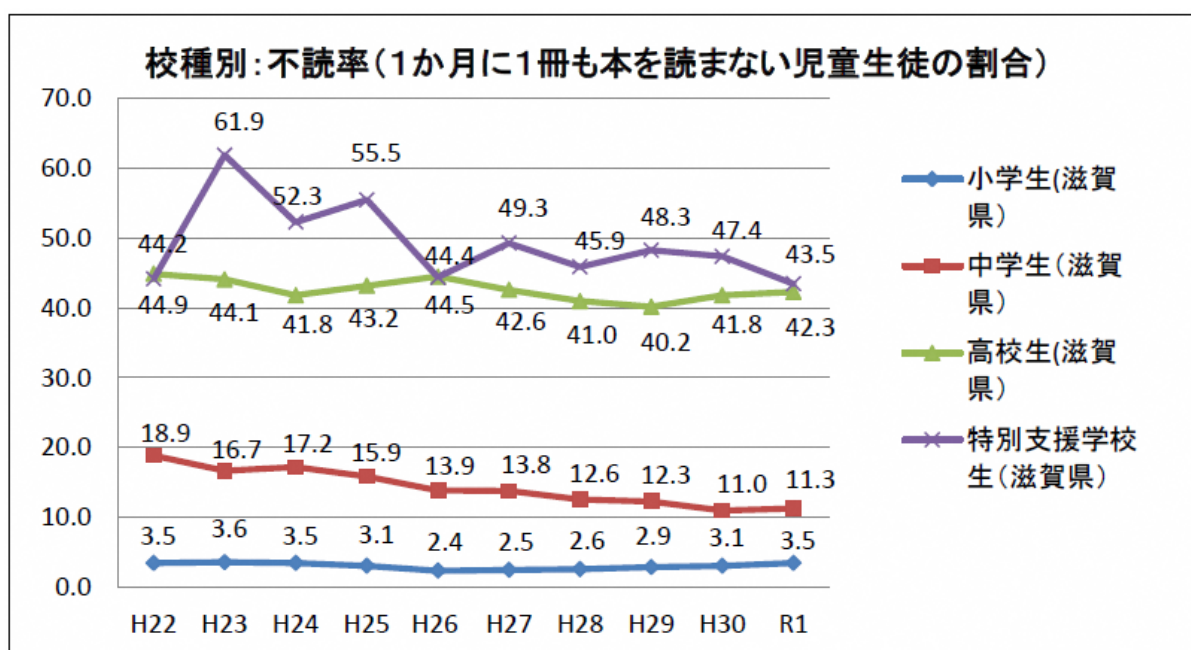
※ 全国数値は、第65回(2019年度)学校読書調査(毎日新聞社)による。

※ 高等学校の全国数値は、全日制のみを対象として集計されている。

※ 本県の高等学校の数値は、平成22年度までは、全日制第1～3学年および定時制の第1～3学年の合計、平成23年度からは全日制第1～3学年および定時制第1～4学年の合計である。

※ 特別支援学校については、全国調査は行われていない。

※ 本県の数値は、平成25年度までは、市町立学校および県立学校のみを対象とし、平成26年度からは国立・私立学校も対象として集計した。



1か月間の平均読書冊数(冊)												
											県目標数値 (設定なし)	全国 R1
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1		
小学生(滋賀県)	7.3	7.5	8.0	7.9	8.3	8.1	8.1	8.1	8.1	7.9	—	11.3
中学生(滋賀県)	2.7	2.7	2.8	2.8	3.0	3.1	3.0	3.1	3.2	3.2	—	4.7
高校生(滋賀県)	1.5	1.6	1.6	1.6	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.4	—	1.4
特別支援学校生(滋賀県)	2.0	1.6	2.3	2.1	2.6	2.2	2.6	2.2	2.5	3.2	—	—

1か月間の平均読書冊数(冊)												
											県目標数値 (設定なし)	滋賀 R1
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1		
小学生(全国)	10.0	9.9	10.5	10.1	11.4	11.2	11.4	11.1	9.8	11.3	—	7.9
中学生(全国)	4.2	3.7	4.2	4.1	3.9	4.0	4.2	4.5	4.3	4.7	—	3.2
高校生(全国)	1.9	1.8	1.6	1.7	1.6	1.5	1.4	1.5	1.3	1.4	—	1.4
特別支援学校生(全国)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3.2

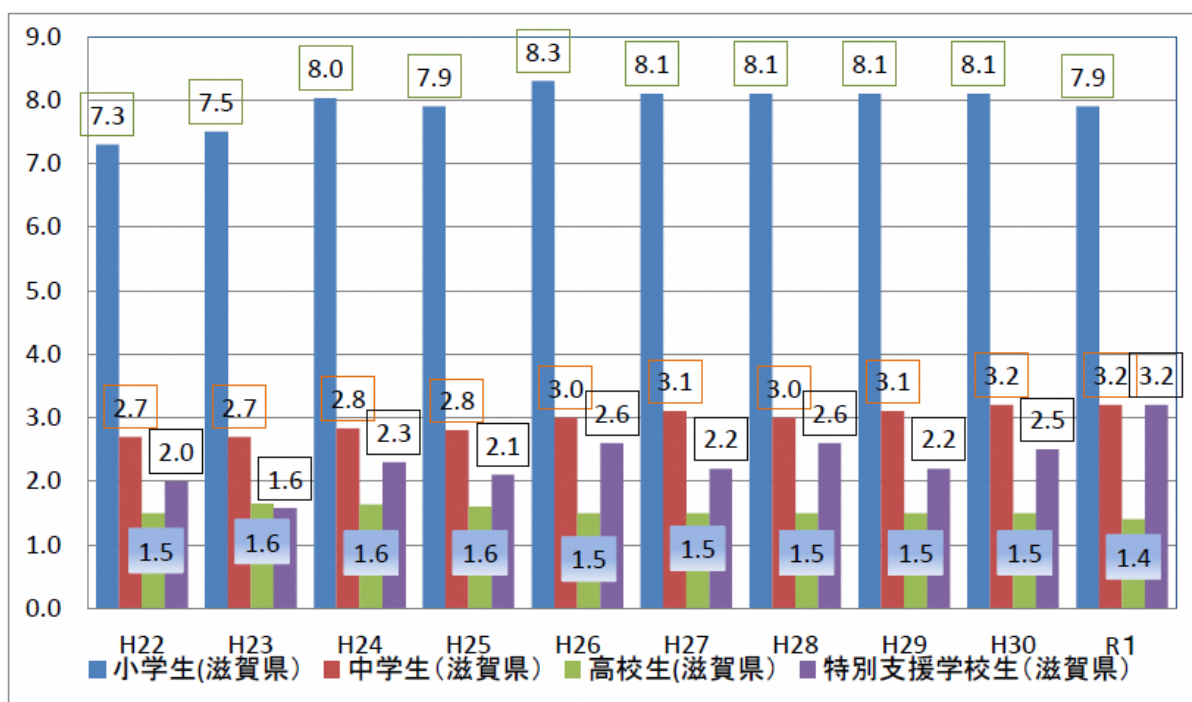
※ 全国数値は、第65回(2019年度)学校読書調査(毎日新聞社)による。

※ 高等学校の全国数値は、全日制のみを対象として集計されている。

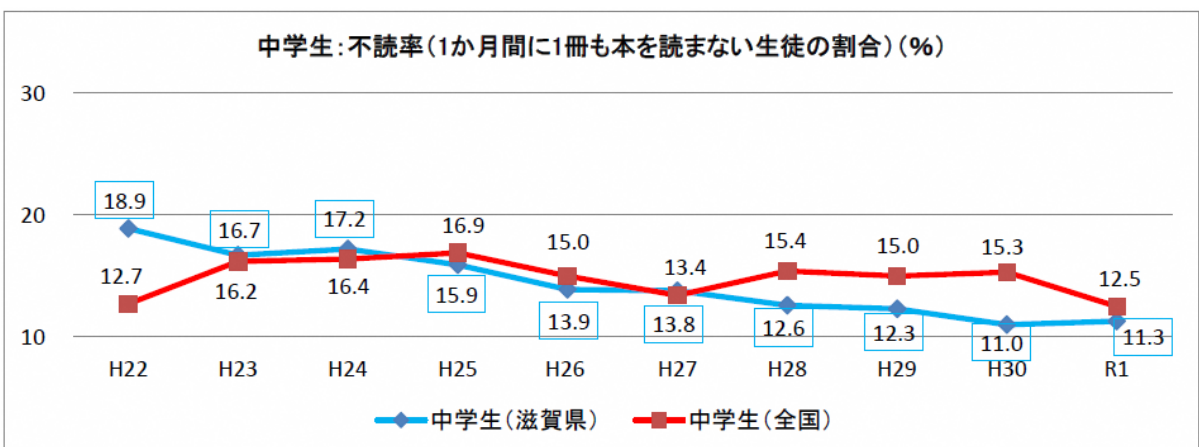
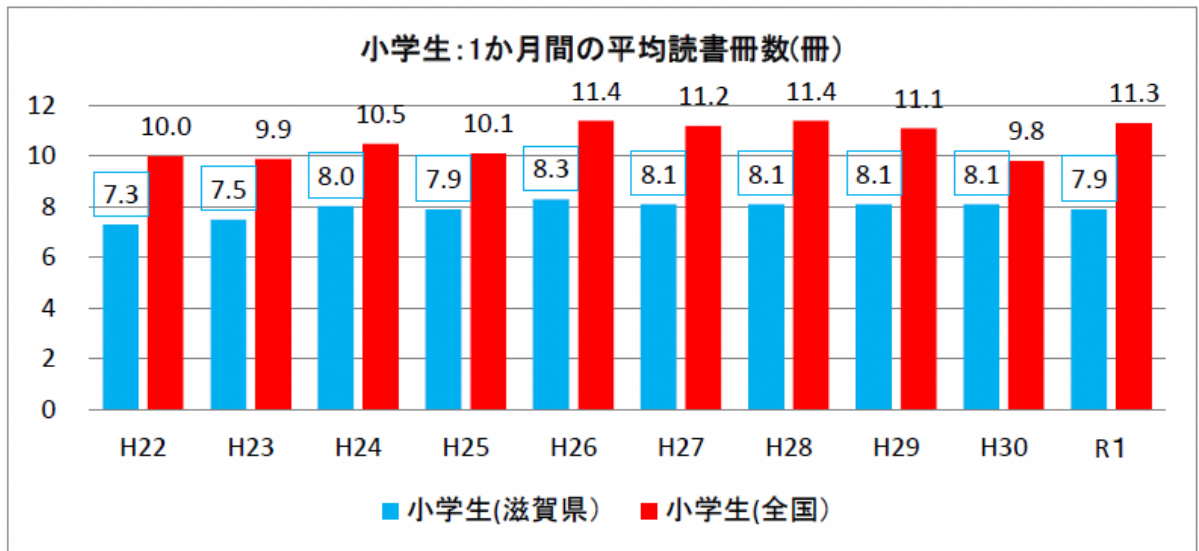
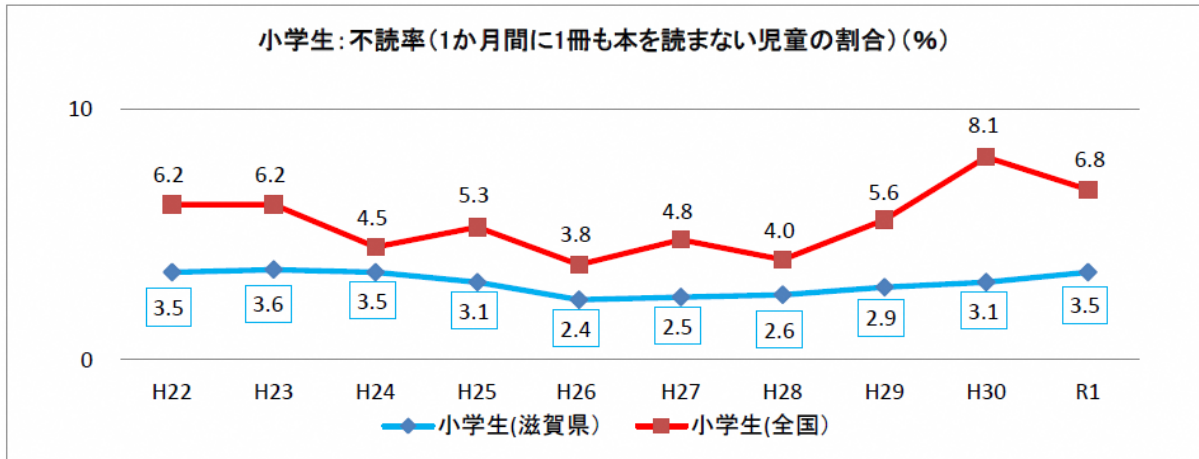
※ 本県の高等学校の数値は、平成22年度までは、全日制第1～3学年および定時制の第1～3学年の合計、平成23年度からは全日制第1～3学年および定時制第1～4学年の合計である。

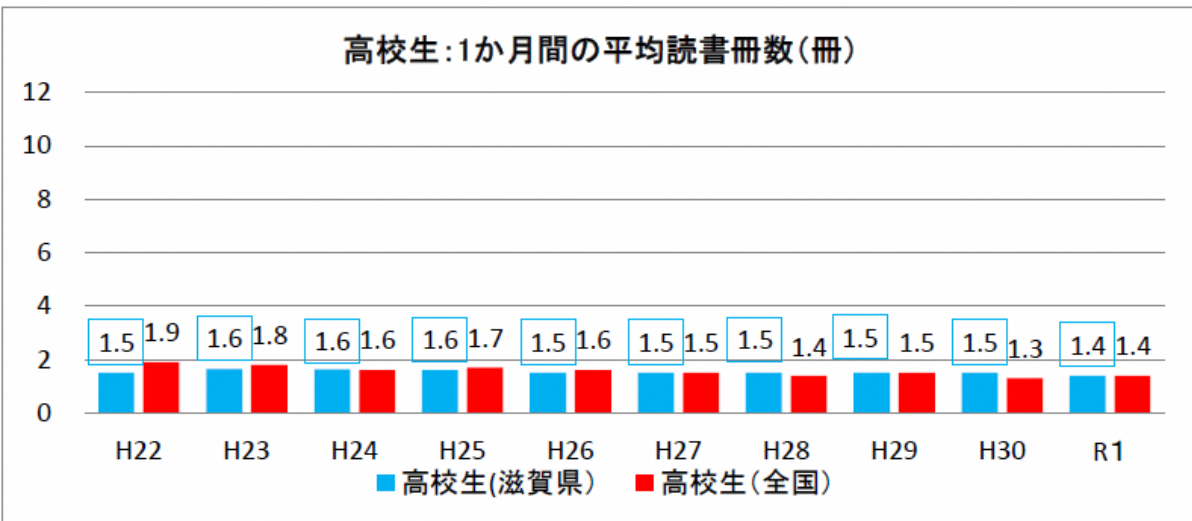
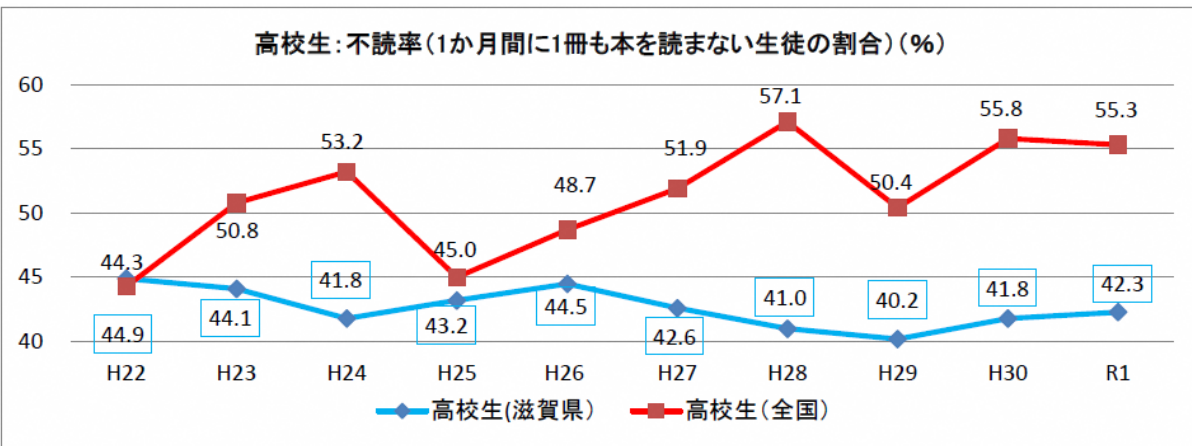
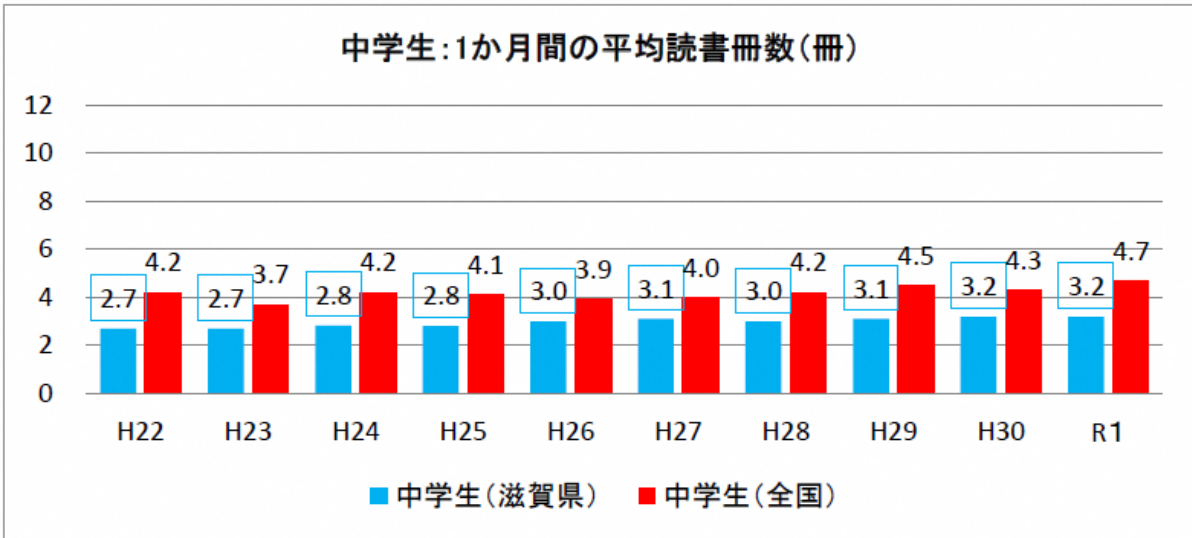
※ 特別支援学校については、全国調査の記録がない。

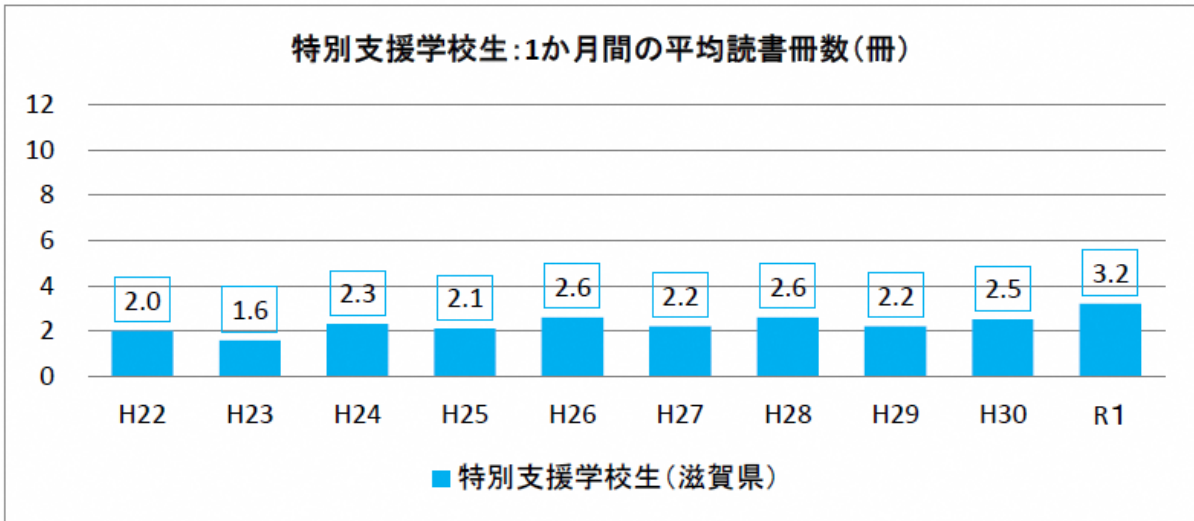
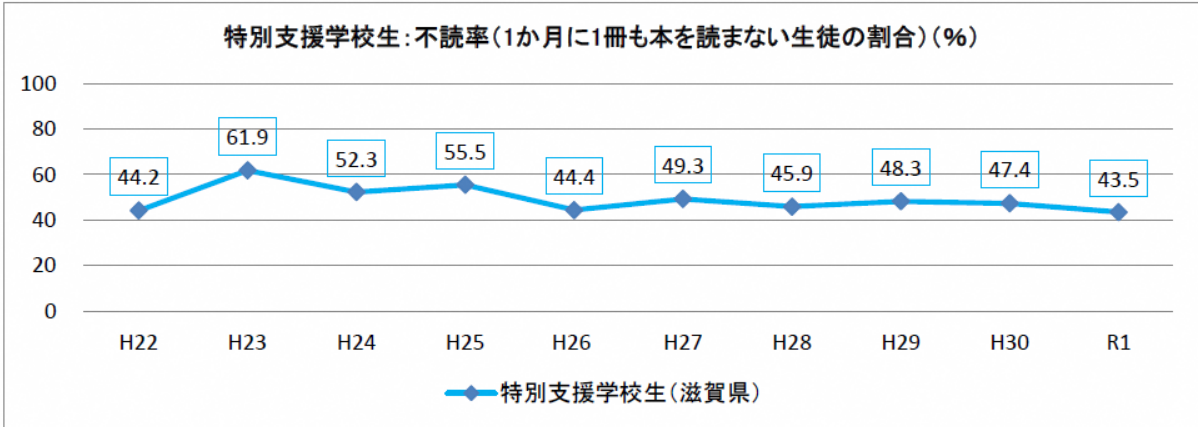
※ 本県の数値は、平成25年度までは、市町立学校および県立学校のみを対象とし、平成26年度からは国立・私立学校も対象として集計した。



◆H22～R1 子どもの読書活動に関する調査（校種別・全国比較の経年変化グラフ）







※ 全国数値は、第65回(2019年度)学校読書調査(毎日新聞社)による。  
 ※ 高等学校の全国数値は、全日制のみを対象として集計されている。  
 ※ 本県の高等学校の数値は、平成22年度までは、全日制第1～3学年および定時制の第1～3学年の合計、平成23年度からは全日制第1～3学年および定時制第1～4学年の合計である。  
 ※ 特別支援学校については、全国調査の記録がない。  
 ※ 本県の数値は、平成25年度までは、市町立学校および県立学校のみを対象とし、平成26年度からは国立・私立学校も対象として集計した。



令和元年度子どもの読書活動に関する調査(結果)

学校	学年	0冊		1冊		2冊		3冊		4冊		5冊		6冊		7冊		8冊		9冊		10冊以上		計	
		人数	冊数	人数	冊数	人数	冊数	人数	冊数	人数	冊数	人数	冊数	人数	冊数	人数	冊数	人数	冊数	人数	冊数	人数	冊数	人数	冊数
小学校	4	410	766	766	937	1,874	1,151	3,453	1,135	4,540	1,344	6,720	1,024	6,144	820	5,740	726	5,808	507	4,563	4,393	77,131	13,213	116,739	
	5	471	875	875	1,067	2,134	1,374	4,122	1,273	5,092	1,422	7,110	1,056	6,336	838	5,866	687	5,496	499	4,491	3,732	65,904	13,294	107,426	
	6	502	1,187	1,187	1,472	2,944	1,656	4,968	1,475	5,900	1,545	7,725	934	5,604	802	5,614	617	4,936	380	3,420	2,717	48,770	13,287	91,068	
計		1,383	2,828	2,828	3,476	6,952	4,181	12,543	3,883	15,532	4,311	21,555	3,014	18,084	2,460	17,220	2,030	16,240	1,386	12,474	10,842	191,805	39,794	315,233	
中学校	1	572	2,393	2,393	2,660	5,320	2,440	7,320	1,317	5,268	1,067	5,335	566	3,396	381	2,667	269	2,152	169	1,521	1,053	18,336	12,887	53,708	
	2	1,203	3,355	3,355	2,765	5,530	1,929	5,787	1,007	4,028	659	3,295	313	1,878	163	1,141	156	1,248	76	684	638	10,583	12,264	37,529	
	3	2,468	3,807	3,807	2,520	5,040	1,499	4,497	618	2,472	490	2,450	225	1,350	153	1,071	119	952	61	549	443	6,601	12,403	28,789	
計		4,243	9,555	9,555	7,945	15,890	5,868	17,604	2,942	11,768	2,216	11,080	1,104	6,624	697	4,879	544	4,352	306	2,754	2,134	35,520	37,554	120,026	
高等学校 (全日制 1～3年 + 定時制 1～4年)	1	4,469	3,467	3,467	2,185	4,370	912	2,736	418	1,672	284	1,420	143	858	79	553	55	440	39	351	276	4,787	12,327	20,654	
	2	5,119	3,606	3,606	1,734	3,468	749	2,247	305	1,220	221	1,105	114	684	61	427	64	512	25	225	227	3,779	12,225	17,273	
	3 (定時制4年舎)	5,997	3,233	3,233	1,474	2,948	657	1,971	293	1,172	216	1,080	106	636	57	399	33	264	29	261	174	2,902	12,269	14,866	
計		15,585	10,306	10,306	5,393	10,786	2,318	6,954	1,016	4,064	721	3,605	363	2,178	197	1,379	152	1,216	93	837	677	11,468	36,821	52,793	
特別支援学校		919	208	208	175	350	161	483	96	384	166	830	70	420	28	196	64	512	27	243	198	3,172	2,112	6,798	

●不読率(1か月間に1冊も本を読まない児童生徒の割合)(%)				今回調査 (R1)
小学校	1,383 人	39,794 人	=	3.5 %
中学校	4,243 人	37,554 人	=	11.3 %
高等学校 (全日制+定時制)	15,585 人	36,821 人	=	42.3 %
特別支援学校	919 人	2,112 人	=	43.5 %

※母数は、調査の対象となった児童生徒数です。

●1か月間の平均読書冊数				今回調査 (R1)
小学校	315,233 冊	39,794 人	=	7.9 冊
中学校	120,026 冊	37,554 人	=	3.2 冊
高等学校 (全日制+定時制)	52,793 冊	36,821 人	=	1.4 冊
特別支援学校	6,798 冊	2,112 人	=	3.2 冊

※母数は、調査の対象となった児童生徒数です。

◆ 調査結果の過去10年間の推移

	不読率(1か月間に1冊も本を読まない児童生徒の割合)(%)											県目標数値 R5(2023)	全国 R1(2019)
	滋賀県 H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R1(2019)	R5(2023)		
小学校	3.5 %	3.6 %	3.5 %	3.1 %	2.4 %	2.5 %	2.6 %	2.9 %	3.1 %	3.5 %	— %	6.8 %	
中学校	18.9 %	16.7 %	17.2 %	15.9 %	13.9 %	13.8 %	12.6 %	12.3 %	11.0 %	11.3 %	— %	12.5 %	
高等学校	44.9 %	44.1 %	41.8 %	43.2 %	44.5 %	42.6 %	41.0 %	40.2 %	41.8 %	42.3 %	30.0 %	55.3 %	
特別支援学校	44.2 %	61.9 %	52.3 %	55.5 %	44.4 %	49.3 %	45.9 %	48.3 %	47.4 %	43.5 %	— %	— %	

注1) 全国数値は、第65回(令和元年度)学校読書調査(毎日新聞社)による。

注2) 高等学校の全国数値は、全日制のみを対象として集計されている。

注3) 本県の高等学校の数値は、平成22年度までは、全日制第1～3学年および定時制の第1～3学年の合計、平成23年度からは全日制第1～3学年および定時制第1～4学年の合計である。

注4) 特別支援学校については、全国調査の記録がない。

注5) 本県の数値は、平成25年度までは、市町立学校および県立学校のみを対象とし、平成26年度からは国立・私立学校も対象として集計した。

	1か月間の平均読書冊数											県目標数値 (設定なし)	全国 R1(2019)
	滋賀県 H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R1(2019)	R5(2023)		
小学校	7.3 冊	7.5 冊	8.0 冊	7.9 冊	8.3 冊	8.1 冊	8.1 冊	8.1 冊	7.9 冊	7.9 冊	— 冊	11.3 冊	
中学校	2.7 冊	2.7 冊	2.8 冊	2.8 冊	3.0 冊	3.1 冊	3.0 冊	3.1 冊	3.2 冊	3.2 冊	— 冊	4.7 冊	
高等学校	1.5 冊	1.6 冊	1.6 冊	1.6 冊	1.5 冊	1.5 冊	1.5 冊	1.5 冊	1.5 冊	1.4 冊	— 冊	1.4 冊	
特別支援学校	2.0 冊	1.6 冊	2.3 冊	2.1 冊	2.6 冊	2.2 冊	2.6 冊	2.2 冊	2.5 冊	3.2 冊	— 冊	— 冊	

注1) 全国数値は、第65回(令和元年度)学校読書調査(毎日新聞社)による。

注2) 高等学校の全国数値は、全日制のみを対象として集計されている。

注3) 本県の高等学校の数値は、平成22年度までは、全日制第1～3学年および定時制の第1～3学年の合計、平成23年度からは全日制第1～3学年および定時制第1～4学年の合計である。

注4) 特別支援学校については、全国調査の記録がない。

注5) 本県の数値は、平成25年度までは、市町立学校および県立学校のみを対象とし、平成26年度からは国立・私立学校も対象として集計した。

滋賀県HPより抜粋

## 2. 「全国学力・学習状況調査」結果（抜粋）

全国学力学習状況調査・児童生徒質問紙 「読書は好きですか」の回答結果

		当てはまる	どちらかという 当てはまる	どちらかという 当てはまらない	当てはまらない
H26 (2014) 小学校	市人数	565	287	167	153
	市割合	48.1	24.4	14.2	13.0
	県割合	46.5	24.1	17.1	12.2
	国割合	48.9	24.1	15.9	11.0
H26 (2014) 中学校	市人数	352	220	209	226
	市割合	34.9	21.8	20.7	22.4
	県割合	41.2	23.2	18.9	16.2
	国割合	45.9	23.5	16.8	13.6
H27 (2015) 小学校	市人数	593	269	215	135
	市割合	48.9	22.2	17.7	11.1
	県割合	48.2	23.2	16.4	12.1
	国割合	48.9	23.9	15.7	11.5
H27 (2015) 中学校	市人数	348	238	195	249
	市割合	33.7	23.1	18.9	24.1
	県割合	40.2	22.5	18.5	18.3
	国割合	44.9	23.0	16.8	15.0
H28 (2016) 小学校	市人数	642	323	179	107
	市割合	51.2	25.7	14.3	8.5
	県割合	47.9	25.8	15.7	10.4
	国割合	49.3	25.3	15.3	9.9
H28 (2016) 中学校	市人数	350	225	214	277
	市割合	32.7	21.0	20.0	25.9
	県割合	42.5	23.0	17.6	16.5
	国割合	46.5	23.4	16.2	13.6
H29 (2017) 小学校	市人数	570	293	190	125
	市割合	48.4	24.9	16.1	10.6
	県割合	47.5	25.7	15.8	10.8
	国割合	49.0	25.3	15.2	10.3
H29 (2017) 中学校	市人数	366	244	215	247
	市割合	34.1	22.8	20.1	23.0
	県割合	41.4	23.1	18.6	16.4
	国割合	46.1	23.8	16.4	13.4
H31 (2019) 小学校	市人数	596	393	198	92
	市割合	46.6	30.7	15.5	7.2
	県割合	42.6	31.4	17.6	8.3
	国割合	44.3	30.7	16.7	8.3
H31 (2019) 中学校	市人数	364	318	230	180
	市割合	33.3	29.1	21.1	16.5
	県割合	35.7	28.6	21.0	14.6
	国割合	38.9	29.1	19.1	12.8

※ 平成30年については、当該設問は、ありません。

### 3. 平成30年度「社会教育調査」結果（抜粋）

#### 3 施設利用者数

##### (2) 図書の貸出業務の実施状況（表8）

平成29年度間の図書館における図書の貸出業務の実施状況をみると、登録者数、帯出者数及び貸出冊数は、それぞれ3,379万人、1億7,790万人、6億5,379万冊となっている。

うち児童（小学生）に対する貸出業務の実施状況をみると、登録者数、帯出者数及び貸出冊数はそれぞれ340万人、1,896万人、1億9,730万冊となっている。

表8 図書の貸出業務の実施状況の推移

（人，冊数）

区 分	登録者数		帯出者数		貸出冊数	
		うち児童		うち児童		うち児童
平成13年度間	27,857,229	4,093,501	143,099,696	21,637,627	520,822,278	124,835,750
平成16年度間	31,991,510	4,276,189	170,611,404	23,639,315	580,726,256	135,240,003
平成19年度間	34,031,694	3,986,074	171,355,117	20,428,169	631,872,611	134,197,680
平成22年度間	33,958,649	3,908,890	<u>187,562,478</u>	22,045,611	<u>682,343,518</u>	179,558,765
平成26年度間	31,365,280	3,397,983	181,363,743	19,844,842	662,157,262	187,734,419
平成29年度間	33,791,030	3,403,517	177,898,626	18,957,331	653,788,544	<u>197,298,843</u>



【小中学校】

団体の名称	問い合わせ先	活動年数 (年 月間)	活動人数 (人)	活動場所 (該当するもの全てに○を付けてください。)						活動頻度 (該当する欄に回数を御記入ください。)			活動内容 (該当するもの全てに○を付けてください。)						メンバー募集 該当する場合は○を付けてください。
	名称			図書館	公民館	児童館	保育所・幼稚園	学校	その他 (○の場合は、具体例の御記入をお願いします。)	週	月	その他 (例：随時等)	読み聞かせ	文庫	ブックトーク	学校図書館への支援	その他 (○の場合は、具体例の御記入をお願いします。)		
しづっこブックネットワーク	志津小学校	21年	30					○			2		○					○	
手作り紙芝居 滋賀ネット「びよんた」	志津南小学校	18年	12					○			年1回		○						
図書ボランティア「ぶんぶん」	志津南小学校	10年	33					○			長休みと昼休み時				○				
ぼっかぼか	志津南小学校	21年	18					○		1			○						○
図書ボランティア「にじ」	草津小学校	21年	14					○		1	随時		○				○	パネルシアター、ひろば読み	○
よもとライブラリー	草津第二小学校	20年	30					○			随時		○						○
アトム文庫	洪川小学校	17年	40					○		3			○				○	人形劇、工作教室、お話広場	○
図書ボランティア	矢倉小学校	14年10月間	34					○		3~4			○				○	学校図書選定補助、環境整備、ペーパーアート	○
ぼけっと	老上小学校	20年	46	○		○	○	○	学童	1			○		○	○	○	館内のポップ等の作成	○
ぼけっと（老上西）	老上西小学校	4年	26					○		1			○						○
図書ボランティア	老上西小学校	4年	29					○		5							○		○
たんぼぼ	南笠東小学校	18年	15					○		1	随時		○						○
ぐりぐら	南笠東小学校	3年	5					○			随時						○		○
ブックドクター	南笠東小学校	3年	7					○		1	随時						○		○
ママppi	玉川小学校	18年	2					○		2			○						
ヨムヨム (図書ボランティア)	玉川小学校	4年	19					○		5			○						○
読書ボランティア「トトロ」	山田小学校	15年	10					○			毎学期に1回		○						
図書ボランティア	山田小学校	18年	19					○			随時						○	○	ブックオフ、しおり作り、小製作り
読書ボランティア「おはなしの森」	笠縫小学校	14年	20					○		2			○						○
にこにこ文庫	笠縫東小学校	12年	11					○		1			○						○
とき小図書ボランティア	常盤小学校	10年	5					○			随時								
図書サポーター	草津中学校	6年	8					○		5								○	○
			計	433															